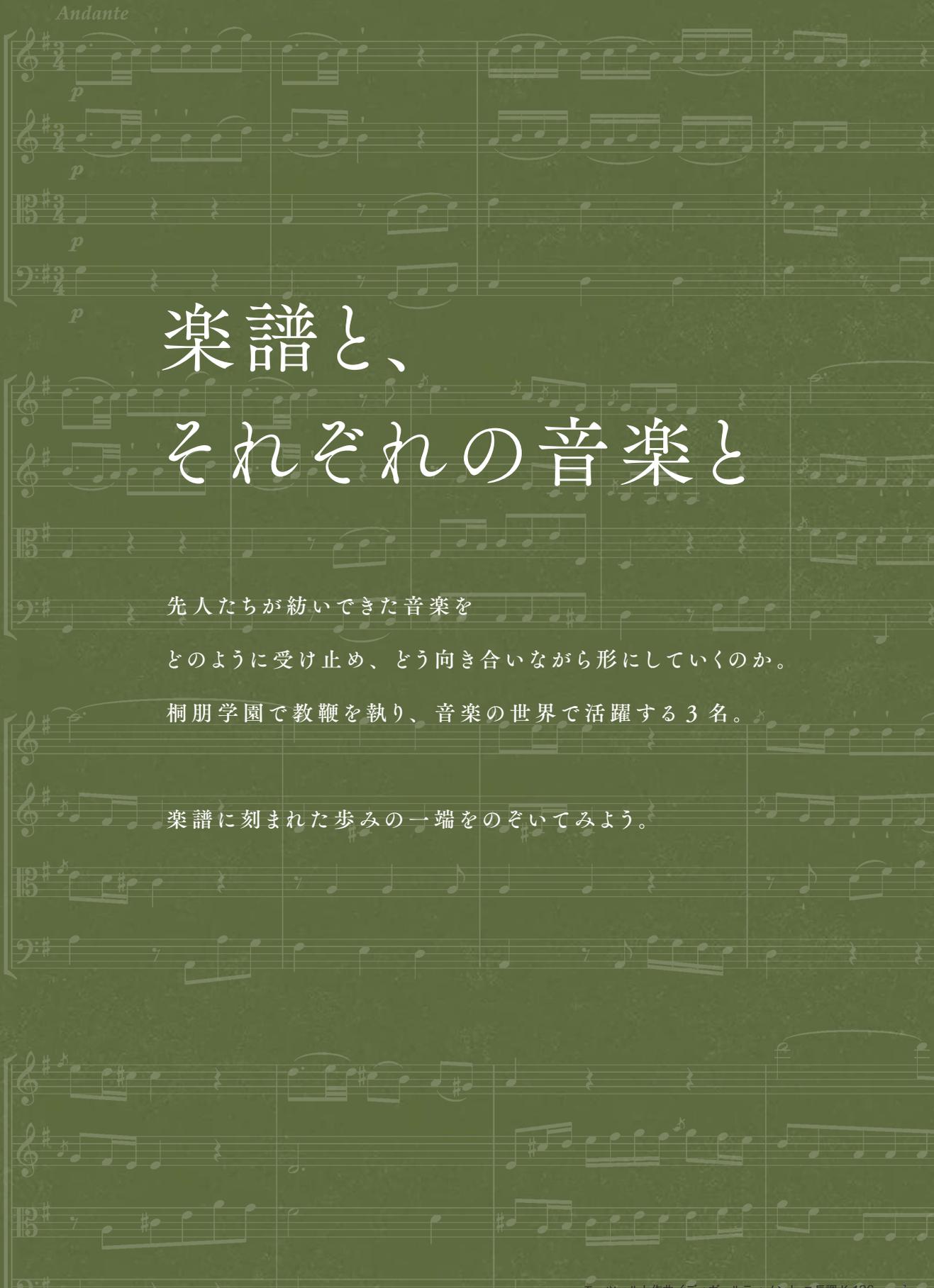




**TOHO GAKUEN  
SCHOOL OF MUSIC  
2026**

目次

プロローグ	3
News	10
学長メッセージ	12
齋藤秀雄先生 没後50年 メモリアル・コンサート	13
桐朋の教育理念	14
鍛える（ソルフェージュ、音楽理論）	15
究める（専攻実技、副専攻、選択副科）	16
超える（オーケストラ、室内楽・二重奏ソナタ）	17
桐朋の学び	
ピアノ専攻	20
弦楽器専攻	21
管楽器専攻	22
打楽器専攻	23
ハープ専攻	24
古楽器専攻	25
声楽専攻	26
指揮専攻	27
作曲専攻	28
ミュージコロジー専攻	29
カリキュラム	30
指導陣	32
特別レッスン	36
桐朋生のキャンパスライフ	
桐朋生の1日	39
活躍する桐朋生	42
コンサートのスケジュール	44
キャンパスガイド	46
桐朋生の進路・進学	
高校卒業後の進路	49
大学卒業後の進路	50
留学について	51
大学院への進学	52
特待生・奨学金制度	53
入試情報	54
アクセスマップ	56



# 楽譜と、 それぞれの音楽と

先人たちが紡いできた音楽を

どのように受け止め、どう向き合いながら形にしていくのか。

桐朋学園で教鞭を執り、音楽の世界で活躍する3名。

楽譜に刻まれた歩みの一端をのぞいてみよう。

# 命を削って 音を紡ぐ

## 「側にいて学んだ生き様」

—— 沼尻 竜典

物ごとの本質を見極め、ニセモノは許さない。大学時代に師事した三善晃先生は、ご自身にも厳しく生きた作曲家でした。私が大学2年次のときに初演された、『童声合唱とオーケストラのための「響紋」』は戦争の惨禍を描いた先生の代表作ですが、音によって表現される戦争は、言葉による描写をはるかに超えた壮絶さとリアリティをもって、聴く者を圧倒します。作曲中はレッスン

が少なかったのですが、たまにお会いする先生の言葉や表情からは、まさに命を削って作曲されていることが伝わってきました。作曲だけでもお忙しいのに、日本の音楽界をいかに良くするか、日々心を砕いていた先生の側にいることができた4年間のおかげで、自分の進むべき道に迷いがなくなりました。

【三善 晃作曲／童声合唱とオーケストラのための「響紋」】「響紋」は大編成のオーケストラに児童合唱が加わる壮大な作品で、練習時間も経費もかかるのですが、現代の音楽としては破格の演奏回数を誇ります。それだけ作品の魅力が大きいということでしょう。子供たちが歌う「かごめかごめ」にオーケストラの咆哮が容赦なく襲いかかり、最後は「うしろのしょうめん だあれ？」という問いかけで終わります。

三善 晃：童声合唱とオーケストラのための「響紋」  
全音楽譜出版社



沼尻 竜典 (ぬまじり りゅうすけ)  
指揮者

桐朋女子高等学校 (男女共学) ピアノ科、桐朋学園大学作曲科、ベルリン芸術大学指揮科卒業。第40回ブザンソン国際指揮者コンクール優勝後、世界各国で指揮活動を始める。2017年業績褒章受章。現在、神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督。桐朋学園大学教授。



MARCHE FUNÈBRE

Handwritten notes in red and blue ink at the top of page 66, including "20分23秒" and "16分" with arrows pointing to specific measures.

Musical score for the first system of 'Marche Funèbre', measures 1-26. The score is heavily annotated with handwritten notes, circles, and lines in red and blue ink. Performance markings like 'Lento', 'p', 'sf', and 'tr.' are visible.

Musical score for the second system of 'Marche Funèbre', measures 31-56. The score is heavily annotated with handwritten notes, circles, and lines in red and blue ink. Performance markings like 'pp', 'cresc.', and 'ped.' are visible.

[ショパン作曲/ピアノ・ソナタ第2番変ロ短調 Op.35 第2楽章 葬送行進曲] これはショパン国際コンクールに向けた練習で使った楽譜。楽譜の書き込みはレッスン時に二宮先生が書いたもの。「赤ちゃん」や「肉」、「♡」などの書き込みも。ペンの色はレッスンの日によって異なり、その日の私の状況によって様々なアドバイスが書き込まれています。

パデレフスキ編ショパン全集VI (日本版) ソナタ  
アーツ出版

「教えを基に、自らの表現を追究する」

—— 関本 昌平

中学生のときから師事していた二宮裕子先生の指導は、とにかく細かい。リズムやタイミングの一つひとつに一切妥協せず、一段進むのに数時間かかることも。でも、先生の弾き方を完璧にコピーすることがレッスンの目的ではありません。一音一音、異なる音の出し方を習得することで自分の中の「道具」を増やし、別のパートや

楽曲に応用させることが重要なのです。そして先生の解釈をなぞるだけではなく、作曲家の人生や歴史的背景を深く知り、自分なりのしっかりとした考えを持つ。私が指導する際も自分の信じる表現にたどり着いた生徒がいたら、本人を尊重して自由に演奏させています。彼らにも音楽をあらゆる角度から追究してもらいたいです。

師の教えを昇華させ、次世代に

繋いでいく

関本 昌平 (せきもと しょうへい)  
ピアニスト

桐朋女子高校音楽科(男女共学)在学中に第5回浜松国際ピアノコンクール第4位。20歳で第15回ショパン国際ピアノコンクール第4位。稲垣千賀子、ミハイル・ヴォスクレンスキー、二宮裕子の各氏に師事。2023年より本学准教授。

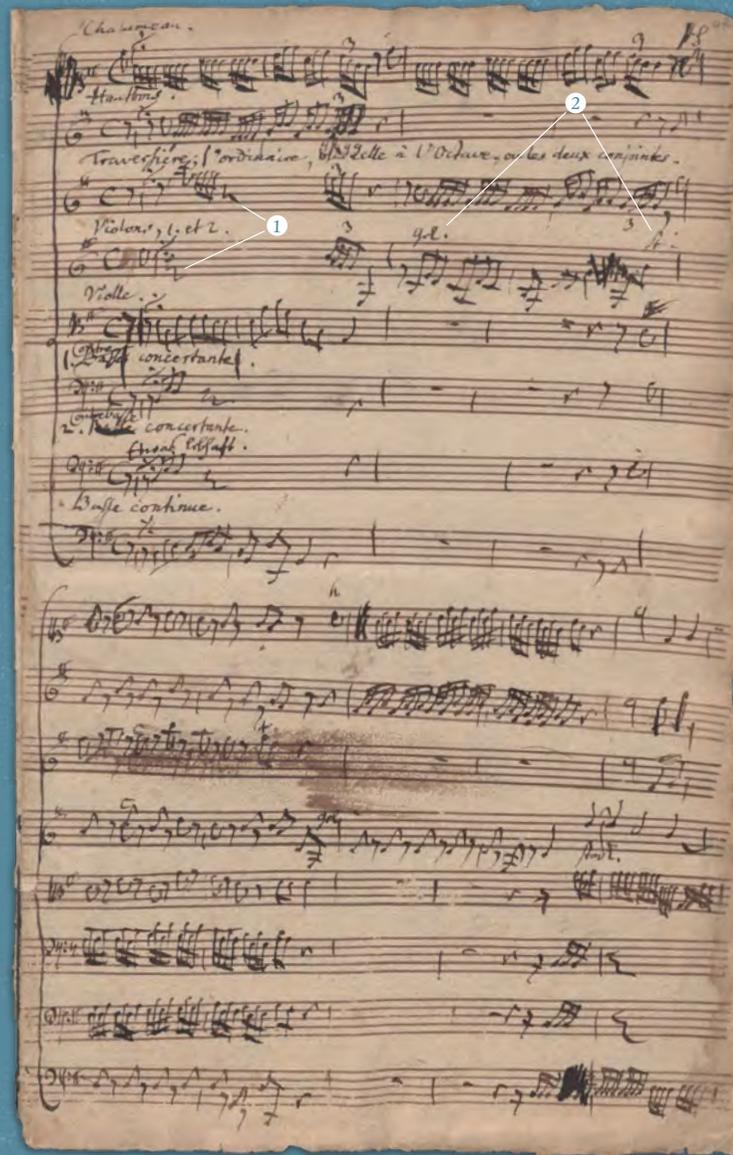


# 古文書の山から現代に音楽を 甦らせる

「作曲家が遺したものを、音楽に変えるために」

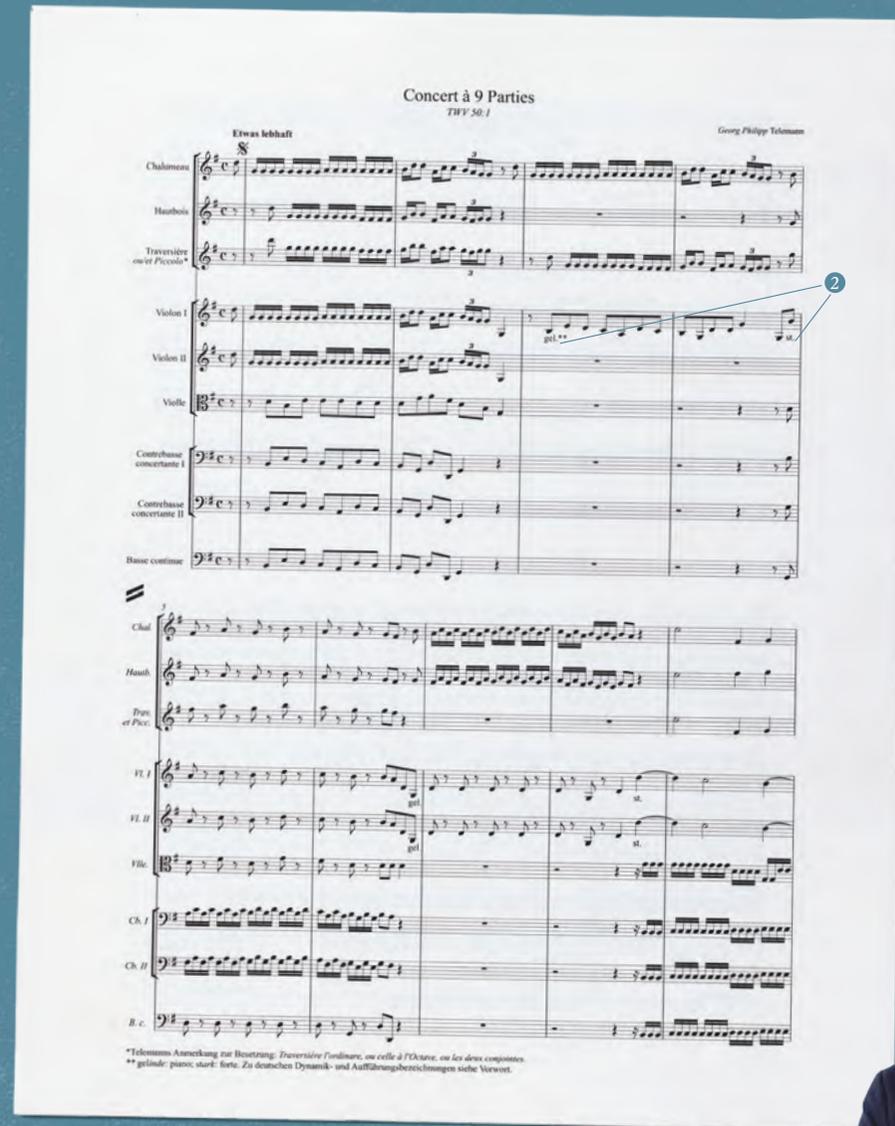
—— 佐藤 康太

世界には、ほとんど誰も触れてきていない、歴史に埋もれた楽譜がたくさんあります。そのような作品を発掘し、現代の音楽家が演奏できるよう楽譜を作り直すのが、私の取り組む「楽譜校訂」です。基になるのは、自筆譜や初版譜など、作曲家自身やその周囲の人々が遺したものと。ところがそういった歴史的な楽譜には、判読の難しい箇所がたくさんあります。私たち校訂者は、それらを学術的な根拠に基づいて解読し、現代の演奏家が使える楽譜へと落とし込んでいきます。そうしてできた楽譜に、演奏家の解釈が加わって音が鳴り、作曲家の遺したものは初めて「音楽」になるのです。ヨーロッパの古い図書館に眠る、謎めいた古文書が、音楽に生まれ変わる瞬間——そこに立ち会うことは、楽譜を作る者にとっての大きな喜びです。



[テレマン作曲／Concert à 9 parties, ca.1761 (左ページ：自筆譜、右ページ：校訂楽譜)]この作品は管楽器とコントラバスが独奏楽器として活躍する非常に珍しい編成の曲です。

Staatsbibliothek zu Berlin - Preußischer Kulturbesitz  
(<http://resolver.staatsbibliothek-berlin.de/SBB00022A3C00000049>)



## 校訂のポイント

① 原本の3段目、フルートのパートでグニャグニャッと書かれているのは「あのパートと同じだよ」と示す“略記”。でも、当時の楽譜のルールや作曲家の癖を知っていないとどのパートと同じか分かりません。文献などからそれを読み解き、誰でも分かるように書き直しています。

② 譜面にある「gel.」と「st.」は、当時のドイツ語の強弱表記。現代の演奏家には「f (フォルテ)」「p (ピアノ)」の方が分かりやすいのですが、ここにはドイツ人であるテレマンの愛国精神が表れているため、あえて書き換えずに残しました。

佐藤 康太 (さとう こうた)  
音楽学者

慶應義塾大学後期博士課程退学。ドイツ学術交流会奨学金を得てハレ大学に留学。同博士課程修了(音楽学)。主な研究領域はテレマンをはじめとする18世紀ドイツの教会音楽とオペラ。批判版楽譜の校訂と出版にも力を入れている。



## Topic.1

### 音楽学専攻は ミュージコロジー専攻へ

21世紀の今、音楽とそれを取り巻く環境は急速に変化しています。その変化に対応した学びを提供するため、音楽学専攻はミュージコロジー専攻へと生まれ変わりました。桐朋の伝統の中で培われたカリキュラムをベースとしながら、英語やマネジメントなど実践的なスキルを養う科目や、より多彩な音楽を扱う講義を新たに加えることで、変わりゆく社会の中で音楽を活かし、音楽とともに歩む道を拓きます。

#### ミュージコロジー専攻の目的

### 音楽を社会で活かす方法を学ぶ



演奏会の企画をしたり、コンサートの解説や批評を書いたり、アーティストのマネジメントをしたり……演奏や作曲以外にも、音楽に携わる生き方はたくさんあります。この専攻では、過去から現在までの多様な音楽のあり方を学んだ上で、音楽に関する様々な職業に役立つスキルを磨きます。好きな音楽を思う存分追究しながら、自分の生き方を見つけましょう。

#### 必要な学び

#### 英語を身につけ 音楽を幅広く届ける

海外の演奏家を招聘する、インタビューをする、文章の翻訳をするなど、音楽の仕事をする上で英語のスキルは必要不可欠。この専攻では、英語のみによる授業を複数設けて、実践的な英語力を養います。

#### 多様なジャンルの 音楽を研究

今の世界は、多種多様な音楽で満ちています。クラシックに限らず、ポップス、ロック、ジャズ、映画音楽、ゲーム音楽など、多彩なジャンルの講義から、社会にあふれる音楽のあり方を学びます。

#### 実技で音楽への より深い理解を

ミュージコロジー専攻では4年間を通じて副科の実技レッスンを受けることができます。音楽実践を通して、知識だけでなく感性を養い、考えることと感じることの両方から音楽にアプローチしていきます。

#### 専攻開講科目（一部抜粋）

- ・Introduction to Musicology
- ・音楽学入門
- ・音楽史Ⅰ・Ⅱ
- ・アート・マネジメント実習
- ・エディション研究
- ・音楽文献学
- ・楽書講読
- ・ポピュラー音楽史

#### 卒業後の進路先イメージ

コンサートホール、音楽事務所、音楽ライブラリアン、音楽学者、音楽ライター、音楽ジャーナリスト、音楽専門通訳、楽譜出版社、音楽雑誌・書籍編集、放送番組制作会社など。



詳細はWebへ  
ミュージコロジー専攻の最新情報は  
本学ホームページをご覧ください



お問い合わせ  
ミュージコロジー専攻についてのご相談は、  
お問い合わせフォームをご利用ください

## Topic.2

### 作曲専攻 編作芸術コースは Music and Sound Design へ

音楽創作の形は日々変化しており、新たなコンテンツは映像やアートなど、分野を超えて生まれています。共同制作において、従来の作曲の概念を広げて音を総合的に構成することができる「音」のプロフェッショナルを育てます。

#### 作曲専攻の2つのコース

創作芸術  
音楽作品の  
作曲技法の習得

Music and  
Sound Design  
他芸術分野との  
共同制作での技術習得

#### Music and Sound Design のねらい

### 作曲・サウンドデザイン・音響技術を結ぶ



サウンドデザインとは「音を最適に演出すること」です。作品の目的に応じて、音楽・セリフ・環境音・フォーリーなどを組み合わせ、音響空間を創り出す技術です。意識的な音の演出だけでなく、無意識や深層心理に影響を与えることも可能です。また、音色、音域、音量、広がりや奥行きを駆使して音響空間を構成することは、まるでオーケストラ曲を作曲するかのよう壮大な世界です。

#### カリキュラムの特徴

#### 制作の基本は 作曲技法の習得から

作曲技術を個人レッスンで学びます。学生の段階に応じた指導を行い、その成果を仲間たちが演奏します。自分の作品が実際に演奏される経験を通して、即戦力としての作曲技術が身につきます。

#### 本格的に学ぶ レコーディング技術

音楽とサウンドデザインを支える重要な領域がレコーディングです。録音の本格的な技術を経験豊かなエンジニアから学びます。素材の録音や高度な編集技術、ミックスなども行います。

#### 学校の垣根を 超えた共同制作

授業で学んだ技術を作品の制作で実践します。桐朋学園芸術短期大学とは演劇・ミュージカル・ダンスを、武蔵野美術大学映像学科高谷智子ゼミとはアニメーション作品を共同で制作しています。

#### 専攻開講科目（一部抜粋）

- ・エクリチュール
- ・オーケストレーション
- ・サウンドデザイン
- ・レコーディング・PA
- ・音楽テクノロジー
- ・ジャズとポップス理論と実習
- ・日本の伝統音楽
- ・世界の民族音楽

#### 卒業後の進路先イメージ

映像、舞台、ゲームの作曲家・サウンドデザイナーなど。これまでも桐朋学園出身の作曲家や放送局のサウンドデザイナーが生まれており、業界との連携を強化していきます。



詳細はWebへ  
Music and Sound Designの最新情報は  
本学ホームページをご覧ください



お問い合わせ  
Music and Sound Designについてのご相談は、  
お問い合わせフォームをご利用ください

# 伝統が支える変革 音楽が切り拓く新しい未来へ

## 基礎の上に新しい学びを 創造と変革に挑戦する

2024年に本学は創始者の一人、齋藤秀雄先生の没後50年を迎え、記念コンサートを開催いたしました。この節目を通じて、本学が培ってきた実技やアンサンブル教育、そしてそれを支えるソルフェージュや音楽理論の教育の重要性を再認識し、継承・発展させていく使命を痛感しています。一方で、人口減少やテクノロジーの発展など、社会が急速に変化するなか、私たちもその変化に適応し、これからの音楽文化を創造していく責務がございます。

2025年度より本学では、従来の音楽学専攻を「ミュージコロジー専攻」に改称し、英語で学ぶ科目を充実させ、演奏に加えて、社会の中で音楽を活かすための実践の場を提供します。また、

作曲専攻に「Music and Sound Design」を新設し、映画やアニメーション、デジタルアートなど他分野との共同制作のための作曲やサウンドデザインを学べる環境を整えました。これにより、次世代の多様な音楽の担い手を育成します。いずれも、桐朋が続けてきた音楽の基礎教育の上でこそ成り立つものと考えております。

## 音楽への深い情熱が 未来の音楽人をつくる

世界が大きく変化しようとも、音楽ととことん向き合い、追究してきた桐朋学園は、音楽への深い理解に加え、音楽を取り巻く社会を広く学ぶ場として、未来の音楽文化を創造する音楽人を輩出する学園であり続けます。皆さまと新たな音楽の可能性を探究できる日を心待ちにしています。

### 辰巳 明子学長

ヴァイオリンを、鷺見三郎、齋藤秀雄、海野義雄の諸氏に師事。1966年、桐朋学園大学在学中、日本フィルハーモニー交響楽団と共演してデビュー。同大学を首席で卒業後、文化庁在外芸術家研修員としてベルリンに留学。サンコ・ガブリロフ氏に師事。イサン・ユンや三善晃などの作曲家より楽曲の献呈を受ける。国立ベルリン芸術大学講師を経て、桐朋学園大学にて主任教授、副学長を歴任。2022年学長就任。世界各地の音楽大学で招聘教授としてマスタークラスを行い、数々の国際音楽祭にて指導。日本音楽コンクールをはじめ、20を超える国際コンクールの審査員を務めている。



# 齋藤秀雄先生 没後50年 メモリアル・コンサート

～小澤征爾さんへの哀悼とともに～

齋藤秀雄先生没後50周年の命日に、メモリアルコンサートを開催。2月に逝去された小澤征爾先生への哀悼の意もこめ、演奏を捧げました。

### 開催概要

開催日：2024年9月18日（水）  
会場：サントリーホール  
出演：【指揮】秋山 和慶、沼尻 竜典  
【チェロ】：堤 剛、齋藤秀雄門下特別編成チェロ・アンサンブル  
齋藤秀雄先生没後50年特別編成メモリアル・オーケストラ



## Report 世代を超えて受け継がれる桐朋の伝統

本学同窓生、学生・生徒、教員らが音楽でひとつになったこのコンサートは、温かな雰囲気の中、齋藤先生の門下生と孫弟子たちによる重厚なチェロ・アンサンブルで開幕。続いての弦楽合奏では、指揮者・秋山和慶氏

が桐朋の伝統をモーツァルトの《ディヴェルティメント》K.136にのせて、先生の一番弟子だった堤剛特命教授は、沼尻竜典教授指揮のもと、ドヴォルザークのチェロ協奏曲で渾身の演奏を聴かせました。

# 桐朋の教育理念

## 【ディプロマ・ポリシー】

以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生は、卒業が認定されます。

- I. 専門分野を究めるための表現力を有し、主体的に学び続ける意欲を持っている
- II. 専門を支える基礎力としての知識と技能を有し、よいものを探求して見つけ出す能力を持っている
- III. 柔軟で汎用的な視点を持ち、今日的な課題について適切な判断ができる
- IV. 幅広い音楽文化に関心を持ち、専門の枠を超えて新しい音楽文化を創造できる

桐朋学園音楽部門の歴史は、1948年、「子供のための音楽教室」開設から始まります。その教育は、幼児期の自然な歌、あるいは身の回りの音と戯れる喜びから発露する表現への欲求をすくい上げ、早期音楽教育の出発点として位置づけようとする試みでした。「子供のための音楽教室」はその後、教室に通う子供たちの成長に応じて高校、大学、大学院へと展開し、早期教育の成果を一貫した教育理念のもとで発展させる場として、今日まで多くの

優れた音楽家を育成してまいりました。

本学の教育は、専攻実技や合奏教育を中心に、ソルフェージュや音楽理論などの専門科目、語学科目、一般教養科目を配し、これら相互関連の総体を学生・生徒の音楽形成の場として捉えています。なかでも、音楽的感性を鍛える「ソルフェージュ」、表現の可能性を究める「実技」、他者と出会い、自己の枠を超える「合奏」の3つを教育の柱として、柔軟で開かれた教育を実践していきます。

鍛える

究める

超える

鍛

究

超

# 鍛える

形のない「音」を捉え、使いこなすために不可欠なソルフェージュ。桐朋のソルフェージュ教育は、「音楽する耳」を鍛えます。訓練された繊細な聴覚は、和声法などの音楽理論に裏打ちされることで精度を増し、客観性を獲得します。自身の音を聴き、的確に批評できる耳が、力強く説得力のある表現を生み出すのです。ソルフェージュ教育によって育まれた「音楽する耳」は、生涯を通じて音楽家としての成長を支えてくれるでしょう。



響きの細部を捉える  
「耳」をつくる

【ソルフェージュ】

ソルフェージュ教育は、桐朋建学のルーツといえるものです。高校と大学初級では、週2回の授業で基礎力の定着に十分な時間をかけ、大学中級以上では、教員の個性と専門性がより際立つ講座を展開します。基礎を重視する指導がその後の大きな成長を促し、音の表情の細部を余さず捉え、分析する耳を育てます。



音楽家として  
必要な理論を身につける

【音楽理論】

音楽理論を学び、音楽の構造や手法を知ること、一つひとつの音の意味を正確に捉えること、音楽を言語のように組み立てることが可能になります。音楽理論に精通することで得られる作品に対する深い理解は、音楽表現の純度を高め、バランス感覚を鍛えます。それが聴衆に感動を与える音楽を生み出します。

鍛 究

超

# 究めめる

極めて実践的な実技教育ですが、そこで示されるのは音楽を究める道を進むための指針です。「音楽を究める道」とは、日々の生活、日々の学びによって築かれます。音楽の探究に終わりはありません。

桐朋の教育の基幹は、一対一の個人指導で行われる実技教育です。これは、学生・生徒を自立した音楽家として認め、主体性を尊重することによって、「訓練」ではなく「教育」と呼べるものになります。ここで行われるのは

鍛 究

超

# 超える

他者の奏でる「音」に耳を澄まし、自己の「音」と呼応させ音楽を創り上げるアンサンブル。楽譜を深く読み解き、音程やアーティキュレーション、リズムなどを緻密に合わせ、あるいは主張し、音楽を形づくります。本学創始者の一人、齋

藤秀雄先生により始められた「桐朋学園オーケストラ」に代表される合奏教育は、実技教育と並んで桐朋の学びの軸となっています。仲間とともにつくる音楽は、個人の表現の枠を超え、かけがえない音楽体験となります。



## 開かれた学びの場で 個性を伸ばす

【専攻実技】

原則として週1回60分の個人レッスンが行われ、高校から大学、大学院まで、同一教員による継続的な指導を基本とします。実技試験は年2回行われ、コンサートホールでの卒業試験は一般公開されます。内外の著名な音楽家を招聘して行う公開レッスンや公開講座、マスタークラスなど、研鑽の機会も多く用意されています。

## 2つの専攻で キャリアの幅を広げる

【副専攻】

副専攻は、主専攻以外の実技を主専攻同様に学ぶことのできる制度で、大学生を対象としています。希望者は試験を受け、合格すれば大学1年次から3年次のいずれからでも受講できます。レッスンは週1回60分。4年次には卒業試験があり、修了要件を満たせば「副専攻修了証」が授与されます。

## 興味を育て可能性を広げる

【選択副科】

在籍年次に関わりなく高校生から大学生まで履修可能。専攻以外の実技レッスンを受講することができます。レッスンは週1回30分（声楽は20分）。積極的な学びが視野を広げます。なかでも本学の副科指揮は、優れた指揮者を多く輩出していることで知られています。専攻実技同様の充実した教育が、新たな可能性を拓きます。



## 伝統のオーケストラ教育で 合奏技術を磨く

【オーケストラ】

オーケストラの授業では、専攻別アンサンブルで合奏技術の基本やオーケストラ・スタディなどを学んだのち、フルオーケストラによる実習に進み、基礎から段階的に修得します。これらの合奏教育は、高校から大学まで一貫したカリキュラムに沿って行われます。これまでに国内外のオーケストラに在籍する楽団員を多数輩出しています。



## 仲間とともに 音楽を創り上げる

【室内楽・二重奏ソナタ】

履修希望者は自主的にグループを編成し、年度初めに申請します。3人以上であれば楽器編成に特別な制約はなく、室内楽と2台ピアノでは高校生と大学生がグループを組むこともできます。年間10回以上のレッスンを経て年度末試験を受け、成績優秀なグループは翌年度の春に開催される室内楽演奏会に出演することができます。



# 桐朋の学び

桐朋の教育は、個の尊重が大きな特色です。  
のびやかな学習環境が、個性の発露と個人の  
自立を促します。音楽への情熱を支えに日々  
模索し、自ら道を切り拓き、目指す音楽を創り  
出していく強い精神力を育みます。

ピアノ専攻	20	指揮専攻	27
弦楽器専攻	21	作曲専攻	28
管楽器専攻	22	ミュージコロジー専攻	29
打楽器専攻	23	カリキュラム	30
ハープ専攻	24	指導陣	32
古楽器専攻	25	特別レッスン	36
声楽専攻	26		

# ピアノ専攻

Piano Course



国際的に活躍するピアニストを数多く輩出しているピアノ専攻。ソロはもちろん、室内楽や伴奏などの様々な演奏形態を、レッスンや授業を通じて体系的に学ぶことができます。アンサンブルの機会が豊富にあることも魅力のひとつ。高校生から大学院生まで、個性ある仲間たちと楽しみながらも妥協せずに音楽を創っていくことは、何にも

まさる大きな喜びです。また、海外の著名な音楽家による特別レッスンや公開講座、学内外の演奏企画、ソロやコンチェルトのコンペティションなど、多彩なプログラムとチャレンジの場を用意しています。本学での学びを通して、一生音楽を愛し、それを人々に伝えることができる豊かな感性と魅力あるピアニストを育てていきます。

## Focus

### 豊富な演奏の機会で 自分に相応しいレパートリーを確立

「桐朋 木の香りコンサート」や学内のコンペティションなど、多くの演奏機会に恵まれています。また、年2回の試験課題は、様々な時代や様式の作品を網羅。ピアノ協奏曲も含めた多様な楽曲を学ぶことで、膨大なピアノ作品のなかから自分に相応しいレパートリーを確立できるよう工夫されています。

# 弦楽器専攻

Stringed Instrument Course

〈ヴァイオリン/ヴィオラ/チェロ/コントラバス〉



弦楽器専攻では、自由で開かれた校風のもと、個性を大切に伸ばす教育を実践しています。経験豊富な指導陣が個々の可能性を導き出し、スケールの大きな演奏家へと育てます。さらに、国内外の音楽家を招聘して行うマスタークラスをはじめ、貴重な学びの場を多数用意。室内楽やオーケストラなど、アンサンブルのカリキュラムも充実し

ています。アンサンブルの授業やレッスンでは、合奏のための技術や奏法、リハーサルの方法などを基礎から指導。学年や専攻の異なる仲間とともに一つひとつ音を創り上げていく時間は、豊かな表現力を養うための糧となります。それは同時に、助け合い、協力し合う仲間同士の一体感が生み出される特別な経験となるでしょう。

## Focus

### 実践的なプログラムで オーケストラを基礎から学ぶ

高校と大学のいずれから入学しても、初めに楽器別の合奏でアンサンブルの基礎を学びます。高校3年次から大学までの5年間、または大学からの4年間は、高大混成のオーケストラで合奏の技術を基礎から修得。基本的なレパートリーから高難度の作品まで、著名な指揮者のもとで段階的に実習します。

# 管楽器専攻

Wind Instrument Course

〈フルート／オーボエ／クラリネット／ファゴット／サクソフォン／ホルン／トランペット／トロンボーン／ユーフォニウム／チューバ〉



# 打楽器専攻

Percussion Instrument Course

〈パーカッション／マリンバ〉



高校から大学までの期間は、身体的にも精神的にも大きく成長する大切な時期。それは管楽器を学ぶ上でも重要な意味を持ちます。実技指導では、個性を尊重するとともに、演奏の基礎となるソルフェージュを重視。徹底した基礎教育は、技術を向上させるだけでなく音楽そのものへの理解を深め、自ら探究する力を育みます。さらに、

オーケストラをはじめ、木管・金管五重奏など各種編成のアンサンブルのための講座を用意。多様な形態のアンサンブルを効率良く学び、学内外で行われるコンサートへの出演によって、管楽器奏者にとって大切な合奏の技術を実践的に修得します。音楽家として多くの経験を重ねてきた指導陣が、学生たちの表現への意欲を引き出します。

## Focus

### 多彩なアンサンブルを学び、 楽器への理解を深める

編成や規模の違うアンサンブルを学ぶことで各楽器の特性を理解し、編成ごとに異なる演奏や表現方法を身につけます。プロオーケストラさながらの意欲的なプログラムで年間7～8回のコンサートを行い、一流の指揮者やソリストと共演。全専攻生がオーケストラの一員としての演奏を経験します。

打楽器の種類や形態は多種多様で、音楽表現も多彩です。打楽器奏者は、高い専門性と同時に広範な知識や経験を求められます。このため本学では、パーカッションとマリンバのどちらかを主専攻として選択しながら、もう一方も学ぶことのできるダブルレッスン制度を設けています。実技レッスンでは一人ひとりと綿密なコミュニケーション

を取り合い、きめ細かい指導で演奏に必要な技術とセンスを基礎から養います。また、オーケストラや室内楽などアンサンブルの機会も豊富で、合奏について基本から体系的に学習します。世界中から学びに訪れる留学生も多く、文化的・人間的な交流の輪が広がることも特徴のひとつであり、音楽界での多岐にわたる活躍が期待されます。

## Focus

### アンサンブルの経験が 奏者としての音を創り出す

パーカッションとマリンバ、2種類のアンサンブルのためのカリキュラムを設置。アンサンブルを通して耳を鍛え、学生・生徒たちの技術力と音楽性の向上を図ります。また、作曲など他専攻生と積極的に交流し、新作初演などの経験を通じて打楽器奏者としての可能性を広げていきます。

# ハープ専攻

Harp Course

# 古楽器専攻

Period-Instrument Course

〈バロック・ヴァイオリン／バロック・チェロ／バロック・オーボエ／フラウト・トラヴェルソ／リコーダー／ヴィオラ・ダ・ガンバ／チェンバロ〉



ハープの歴史は古く、その音色は何世紀も前から人々を魅了してきました。本学では、日本におけるハープ奏者の活動の場を広げ、その可能性を切り拓いてきた第一人者の指導により、正しい演奏様式とテクニックを学ぶことができます。また、オーケストラや室内楽におけるハープの重要な役割に注目し、ソリストだけでなく、アンサン

ブル奏者の育成にも力を入れています。公開レッスン形式で行われるアンサンブルやオーケストラ・スタディの授業では、ハープのための重要なレパートリーを取り上げ、優れたアンサンブル奏者として活躍するために必要な技術と知識を基礎から教えます。ハープ奏者に必要な要素を体系的に指導し、次代を担う演奏家として送り出します。

## Focus

### 他楽器との共演が 演奏力・表現力を高める

毎年12月に開催する「ハープアンサンブルの夕べ」は、複数のハープを使ったハープ同士のアンサンブルと、他楽器とのアンサンブル作品で構成するコンサート。専攻生全員が出演します。専攻生が互いに成長を確認する機会であると同時に、他専攻生と共演し交流を深める貴重な機会でもあります。

20世紀中頃以降、音楽作品を演奏する際にそれが作曲された時代の楽器を使用する解釈が試みられてきました。こうした解釈で使用される楽器は一般的に古楽器（ペリオド楽器）と呼ばれますが、本専攻はこの古楽器を専門的に学びます。レッスンやアンサンブルの授業によって演奏技術を高めるだけでなく、主として17世紀、18世紀の

楽器や演奏法、記譜法などの歴史について研究を深めながら、当時の音楽を現代に甦らせるための方法を修得していきます。近年、古楽器による演奏は19世紀以降のレパートリーも視野に入れるようになり、モダン楽器の演奏家が古楽器演奏の方法を取り入れることもあります。古楽器専攻の重要性はさらに高まっていくでしょう。

## Focus

### 様々なタイプのチェンバロに触れ、 探究に合わせて学習する

チェンバロ、クラヴィコード、フォルテピアノなどの鍵盤楽器や、バロック・ヴァイオリンやヴィオラ・ダ・ガンバ、フラウト・トラヴェルソやバロック・オーボエなどの多様な楽器の演奏を通して、楽器の構造、歴史、ピッチ、音律などその時代ならではの音楽習慣を学習し、多角的な考え方を身につけます。

# 声楽専攻

Vocal Music Course



自らの身体そのものが楽器となる声楽。正確な発声法と呼吸法、充実したソルフェージュや語学教育が、声楽家としての基礎を形づくりまします。高大一貫の専門教育で音楽家に必要な知識と教養を身につけ、高い能力と個性を併せ持つ優れた演奏家へと成長する力を蓄えます。オペラクラスでは、歌唱や演技はもちろん、舞台を創り上げる

工程全般を学びます。現役のオペラ歌手が助演で参加することもあり、プロの役づくりや本番までの準備の方法などを間近に見ることができます。高度なアンサンブルや合唱の授業、海外からの招聘講師による公開レッスンなども充実。器楽専攻生との交流は、音楽を愛する心を育むだけでなく、一生の宝となるでしょう。

## Focus

### 5カ国語によるディクショで正しい発音を学ぶ

言葉の発音法を学ぶディクシオンの授業が充実。イタリア語、ドイツ語、フランス語、日本語、ロシア語によるカリキュラムを用意。歌曲などを教材に、言語に合わせた正しい発音や発声法など、歌うための基礎的な技術を身につけます。様々な言語に触れることで、自分に合う分野や方向性を模索していきます。

# 指揮専攻

Conducting Course



指揮者は、演奏の現場で起こる様々な問題を円滑に解決する高い能力が求められます。指揮者は音を出しません。しかし、音楽への理解を深め、現場の奏者たちと良好な関係を築くためには、ソルフェージュや音楽理論などの基礎を徹底して身につけ、ピアノや副科実技のレッスンなどで楽器演奏にも習熟することが不可欠です。優れた

演奏家でもある器楽専攻生たちとの交流は、指揮者には欠かせないコミュニケーション能力や積極性を養います。本学創始者の一人、齋藤秀雄先生から始まる桐朋の指揮の伝統を受け継ぎ、発展させてきた指導陣による教育と、オーケストラの生の音に日常的に触れることのできる環境は、指揮を学ぶ上で大きな魅力となります。

## Focus

### 演奏会のリハーサルを見学し、生きた音楽を学ぶ

オーケストラなどのリハーサルを見学することは、著名な指揮者や演奏家たちのリハーサルでのコミュニケーションや練習プロセスを間近で見て学習する良い機会となります。特に、オペラを一から創り上げる現場の空気を体感することは、将来、指揮者として活躍するための貴重な経験となるでしょう。

# 作曲専攻

Composition Course

〈創作芸術 / Music and Sound Design〉

# ミュージコロジー専攻

Musicology Course



作曲専攻では、しっかりとした基礎の修得と、創作活動の実践につながる教育を目指しています。高校・大学ともに、一流の指導陣による実技レッスンと、音楽理論や作曲法のクラスを用意。基礎から応用まで段階的に指導します。毎年開催する作曲作品展、国内外の著名な音楽家を招いての公開講座や集中講義など、発表、研究の機会

も数多く提供。また、演奏家とのコラボレーションにより、楽器と奏法についてのバラエティに富んだ探究の場を豊富に設けています。大学では、創作芸術コースは和声・対位法・管弦楽法・コンピュータ音楽実習など、Music and Sound Design コースはサウンドデザイン・レコーディング・他分野との共同制作などの領域があります。

## Focus

### 試演会を通じて多くの個性と交流し、友情を育む

本学には、現代音楽に関心があり、現代作品の演奏に積極的な器楽専攻生が数多くいます。作曲専攻生と器楽専攻生との距離が近く、学生同士で試演会を企画するなど、高大の区分なく自作品を音にする機会に恵まれています。様々な専攻の友人たちは、卒業後も助け合える大切な仲間となります。

ミュージコロジー専攻では、音楽やその歴史について考え、それを言葉として伝える方法、そして音楽を社会で活かす方法を学びます。音楽史や音楽理論、ソルフェージュなどの基礎を身につけながら、クラシックだけでなく民族音楽、ポップス、ロック、映画音楽など多様な音楽について学び、4年次には自身で選んだテーマについて卒業論

文を書きます。音楽に関わる仕事に必要なスキルを身につけるために、英語による授業やアート・マネジメントが必修として設置されているのも大きな特徴です。また、自分の好きな楽器などを選べる副科実技を4年間受けることができるため、実技と学問をしっかりと両立しながら自分の進むべき道を考えることができます。

## Focus

### 自由で開かれた学習環境のもと、自身の生き方を探る

専攻の必修科目には、少人数のゼミ形式のものが多くあり、卒業論文を書く際は担当教員が毎週1時間、1対1で指導を行います。そのため教員と学生の距離が近いのが特徴。アットホームな雰囲気なかで自由に対話しながら、この先どう音楽と向き合っていくのか、ともに考えていきましょう。

# カリキュラム

本学は、1コマ90分という時間割設定と、授業開講期間、試験期間、文化祭などの年間予定を高大で共有することで、高校から大学までの一貫性を重視したカリキュラム編成を実現しています。学生・生徒の能動的な学びを引き出す豊富な選択科目、学習効果を高めるレベル別少人数授業なども大きな特色です。ここでは、そうした特色を生かした科目を抜粋しています。カリキュラム全般については本学ホームページに掲載しています。

詳細はWebへ



高校 大学

## 専門科目

### ソルフェージュ

必修科目。高大ともにグレード別少人数編成によるクラス授業を行っています。個人のグレードは所定の試験を経て一定期間ごとに更新され、常にレベルに合った指導を受けることができます。大学中級以上は多彩な講座のなかから自由に選択することができます。

### 和声

高校からの入学者は大学1年次までの4年間必修、大学からの入学者は3年次までの3年間必修です。大学からの入学者は和声既習者と未習者とでクラスを分けるため、無理なく確実に学習できます。和声の習得が、音楽理論や演奏法などへと発展します。

### 音楽理論・音楽史

音楽理論は、高校では音楽理論基礎、大学では音楽理論概論で楽典などを学んだ後、楽曲分析などへと展開します。音楽史は、高校では2・3年次に、大学からの入学者は1年次に概説を学んだ後、より専門的な視点で「音楽を考える力」を育みます。

## 語学科目

英語は高校3年間必修です。高校2年次からは独・仏いずれかを履修することができ、3年次で取得した独・仏の単位は桐朋学園大学の単位として認定されます（高大連携科目）。大学では英・独・仏・伊の各国語から1カ国語以上を選択します。

### 室内楽・二重奏ソナタ（2台ピアノを含む）

自由選択科目。室内楽や二重奏ソナタのレッスンを通年で受けることができます。年次による編成の制限がある以外にメンバー構成の制約はなく、高校生と大学生でグループを編成することも可能です。指導教員を2名まで希望することができます。

### 専攻別アンサンブル

弦・管・打・ハープ・古楽器・声楽専攻生を対象とする授業。対象年次は専攻ごとに異なります。楽器専攻生は専攻楽器同士での合奏、または異なる楽器との合奏を通じて、声楽専攻生は合唱を通じて、アンサンブルの技術と表現を基礎から学びます。

### オーケストラ

高校3年次の弦楽器専門生と大学の弦・管・打・ハープ専攻生を対象とする通年授業。高校生と大学生とでひとつのオーケストラを編成し、指揮者のもとでのオーケストラ演奏を学びます。その後、演奏会ごとに設置されるオーケストラでさらに経験を積みます。

## 一般教養科目

特色ある講座のなかから、学生・生徒が自身の興味や必要に応じて選択し、履修することができます。人文科学、社会科学、自然科学、身体活動の各分野において、音楽家をめぐる今日的な課題について多角的に考えるための講座を設置しています。

高校からの入学者

大学からの入学者

共通

	桐朋女子高等学校 音楽科 (男女共学)			桐朋学園大学 音楽学部				
	1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門科目	ソルフェージュ							
	和声Ⅰ	和声Ⅱ	和声Ⅲ	応用和声Ⅱ				
				和声法Ⅰ	和声法Ⅱ	応用和声Ⅰ		
	音楽理論基礎	音楽理論応用		音楽理論(分析)				
				音楽理論概論		※和声法Ⅱの単位取得者		
		音楽史						
				音楽史概説				
	専攻実技							
	副科実技							
				副専攻				
室内楽	室内楽・二重奏ソナタ (2台ピアノ含む)							
専攻別アンサンブル								
			オーケストラ					
語学科目	国語			日本語表現				
	英語							
		ドイツ語/フランス語(初級)		ドイツ語/フランス語(中級)				
				ドイツ語/フランス語(初級)				
			イタリア語					

## Teacher-training course

### ▶ 教職課程

卒業単位の他、教職課程に定められた単位を修得することによって、右記の教員免許状を取得できます。教員免許状を取得するためには、教職に関する科目の他、学外での介護等体験や教育実習などの実習を含む単位が必要となります。本学学生は積極的に教職課程を履修しており、約7割の学生が卒業時に教員免許状を取得しています。

中学校教諭一種免許状(教科:音楽)

高等学校教諭一種免許状(教科:音楽)

※大学のみ

# 指導陣

2025 年度

学長	辰巳 明子	学生部長	合田 香
理事	姫野 雅子	図書館長	安田 和信
学部長	沼野 雄司	高校部長	森山 智宏
研究科長	清水 和音	音楽教室部長	新井 博江
教務部長	杵鞭 広美		



## 実技等指導陣

※ 教員名の右上の印は以下の職名などを表します。  
 \* 大学専任教員 ★ 高校教諭 ◇ 特命教授 ● 特任教授 ○ 特任講師  
 ※ 副科として掲載している教員は、当該専攻の副科実技のみを担当します。

### ピアノ

新井 博江 * (主任)	上野 久子 ◇	反田 恭平 ●	江澤 聖子	島田 彩乃	三輪 郁	【副科ピアノ】
清水 和音 *	海老 彰子 ◇	田部 京子 ●	大西 真由子	高田 匡隆	廻 由美子	小田 裕之
中井 恒仁 *	岡本 美智子 ◇	玉置 善己 ●	大伏 啓太	高橋 多佳子	山崎 牧子	佐藤 勝重
仲道 郁代 *	山田 富士子 ◇	練木 繁夫 ●	金子 恵	鶴園 紫磯子	吉武 優	中川 賢一
朴 久玲 *	Pascal Devoyon ●	村上 弦一郎 ●	川島 伸達	外山 啓介	吉村 真代	中川 朋子
有吉 亮治 *	Emanuel Rimoldi ●	若林 顕 ●	河村 晋吾	奈良場 恒美		松谷 園子
今井 彩子 *	青柳 晋 ●	阿部 美果子	木村 徹	西村 翔太郎		宮木 麻衣
関本 昌平 *	伊藤 恵 ●	石井 楓子	斎木 隆	広瀬 康		
沼沢 淑音 *	須田 眞美子 ●	入江 一雄	佐藤 彦大	三原 未紗子		

### 弦楽器

▼ヴァイオリン・ヴィオラ	辰巳 明子 ◇	藤原 浜雄 ●	豊嶋 泰嗣	宮田 大 ●	▼コントラバス	【副科ヴァイオリン】
景山 誠治 * (主任)	徳永 二男 ◇	伊藤 亮太郎	水谷 晃	山崎 伸子 ●	市川 雅典 *	梅津 美葉
久保田 巧 *	原田 幸一郎 ◇	木野 雅之	村上 淳一郎	苅田 雅治	吉田 秀 ●	
豊田 弓乃 *	堀 正文 ◇	久保 良治	山口 裕之	菊地 知也	石川 滋	
神谷 美千子 *	池田 菊衛 ●	佐々木 亮	▼チェロ	木越 洋	稲川 永示	
田中 晶子 *	漆原 啓子 ●	篠崎 友美	長谷川 陽子 *	北本 秀樹	星 秀樹	
石井 志都子 ◇	恵藤 久美子 ●	篠崎 史紀	倉田 澄子 ◇	清水 詩織	本間 達朗	
磯村 和英 ◇	加藤 知子 ●	清水 醍輝	堤 剛 ◇	高木 慶太		
篠崎 功子 ◇	清水 高師 ●	鈴木 康浩	毛利 伯郎 ◇	銅銀 久弥		
庄司 紗矢香 ◇	竹澤 恭子 ●	戸田 弥生	上村 昇 ●	古川 展生		

### 管楽器

▼フルート	▼オーボエ	有馬 理絵	▼ファゴット	小山 弦太郎	▼トランペット	古賀 光
神田 寛明 *	嶋崎 耕三 *	勝山 大輔	岡本 正之 ●	茂木 建人	長谷川 潤 *	▼ユーフォニウム
白尾 彰 ●	広田 智之 ●	野田 祐介	井上 俊次	▼ホルン	田中 敏雄	佐藤 采香 ●
倉田 優 ○	岡 北斗	芳賀 史徳	佐藤 由起	上原 宏 * (主任)	佛坂 咲千生	▼チューバ
飯島 諒	小野寺 彩子	林 裕子	武井 俊樹	猶井 正幸 ●	山本 英司	池田 侑太
泉 真由	高橋 舞	藤井 洋子	福井 弘康	今井 仁志	▼トロンボーン	久保 和憲
梶川 真歩	最上 峰行	三界 秀実	▼サクソフォン	豊田 実加	神谷 敏 ●	渡辺 功
小池 郁江	▼クラリネット	吉野 亜希菜	武藤 賢一郎 ●	吉永 雅人	今村 岳志	
高野 成之	亀井 良信 *		大津 立史		柴田 晃	

### 打楽器

▼パーカッション	▼マリンバ	▼パーカッション・マリンバ
小島 光 ●	安倍 圭子 ◇	安江 佐和子 ○
近藤 高顕 ○	中村 友子	
渡邊 壮	藤井 里佳	

### ハープ

篠崎 史子 ◇ 井上 美江子 篠崎 和子

### 古楽器

▼バロック・ヴァイオリン	▼バロック・チェロ	▼バロック・オーボエ	▼リコーダー	▼チェンバロ	【副科チェンバロ】
寺神戸 亮 ●	Emmanuel Girard ●	桐山 温子	古橋 潤一	有田 千代子 ●	植山 けい
丸山 韶	酒井 淳 ●	▼フラウト・トラヴェルソ	▼ヴィオラ・ダ・ガンバ	渡邊 順生	【副科オルガン】
		有田 正広 ●	Emmanuel Girard ●		水野 均

### 声楽

大橋 ゆり * (主任)	藤川 泰彰 ★	藺田 真木子	長尾 康世	嘉目 真木子	【副科声楽】
腰越 満美 *	落合 美和子	谷 茂樹	松井 康司	与那城 敬	北村 典子
宮本 益光 *	駒井 ゆり子	丹藤 麻砂美	村上 明子		
鈴木 准 *	里中 トヨコ	塚田 裕之	森 麻季		
大島 幾雄 ◇	篠原 百合乃	友清 崇	安井 陽子		

### 指揮

沼尻 竜典 \* 増井 信貴 ● 篠崎 靖男 吉田 行地  
 尾高 忠明 ◇ 新田 ユリ ○ 村上 寿昭

### 作曲

石島 正博 * (主任)	杉山 洋一 ●	原田 敬子	渡辺 裕紀子	吉田 真穂	【副科作曲】
土田 英介 *	西岡 龍彦 ●	▼作曲法演習	▼作曲理論ピアノ		井上 渚
加藤 真一郎 *	愛澤 伯友 ○	土田 英介 *	石島 正博 *		遠藤 真理子
余田 有希子 *	池田 哲美 ○	葉 孝之 ●	土田 英介 *		金田 望
森山 智宏 *	久木山 直 ○	愛澤 伯友 ○	加藤 真一郎 *		清水 篤
鷹羽 弘晃 *	大家 百子	伊藤 康英	森山 智宏 *		田口 真理子
正門 憲也 ★	金子 仁美	金子 仁美	鷹羽 弘晃 *		松波 匠太郎
三瀬 和朗 ◇	鈴木 純明	佐藤 岳暁	飯野 明日香		山口 恭子
香月 修 ●	鈴木 輝昭	久行 敏彦	石岡 久乃		山下 美香
近藤 譲 ●	林 達也	村上 寿昭	三輪 郁		渡部 真理子

### 音楽学

沼野 雄司 \* (主任) 安田 和信 \* 佐藤 康太 \*

## 大学 | 専門科目

### ソルフェージュ

鷹羽 弘晃 * (主任)	間谷 琴未 ★	小田 裕之	十川 菜穂	寺嶋 陸也	堀井 佐知子	山中 千尋
森山 智宏 *	安西 房代	加藤 千春	田口 真理子	深見 麻悠子	松井 裕紀子	渡部 真理子
加藤 真一郎 *	井澤 岳野	沢木 良子	田中 やよい	船橋 泉乃	柳川 瑞季	
伊倉 由紀子 ★	上田 真樹	塩崎 美幸	塚田 真理	百武 眞弓	山口 恭子	
鈴木 しのぶ ★	大塚 萌	清水 篤	築田 佳奈	平野 公崇	山下 真理	

### 音楽学・音楽史

沼野 雄司 * (主任)	佐々木 亮 ○	岡田 安樹浩	白井 史人	永井 玉藻	藤田 茂	米田 かおり
安田 和信 *	Cathy Cox	川本 聡胤	神保 夏子	沼口 隆	藤村 晶子	
佐藤 康太 *	池原 舞	後藤 菜穂子	近松 博郎	平間 充子	前原 恵美	
上尾 信也 ○	今井 千絵	佐々木 美奈子	塚田 花恵	伏木 香織	山上 揚平	

### 和声法・音楽理論・Music and Sound Design・芸術音楽

石島 正博 * (主任)	菜 孝之 ○	井上 渚	工藤 真希子	渡部 真理子	▼MSD 演習・共同制作	加藤 直正 ○
土田 英介 *	愛澤 伯友 ○	井上 莉里	下山 静香			小島 有利子
加藤 真一郎 *	池田 哲美 ○	遠藤 真理子	引地 誠		余田 有希子 *	佐藤 岳晶
森山 智宏 *	久木山 直 ○	片山 柊	降旗 奈月		亀川 徹 ○	山中 千尋
鷹羽 弘晃 *	Yohanan Chendler	魚返 明未	松波 匠太郎		西岡 龍彦 ○	
正門 憲也 ★	伊藤 康英	金子 仁美	山中 千尋		愛澤 伯友 ○	

### その他専門科目

▼ピアノ伴奏法	▼ピアノ・リテラチュア	渡部 智也	加藤 洋朗	▼音楽批評	▼オーケストラ	稲川 永示
古高 晋一	河村 晋吾	▼オペラクラス	竹内 雅拳	梅津 時比古 ◇	蠣崎 耕三 *	景山 裕子
▼伴奏クラス	▼ピアノ実技指導法	大橋 ゆり *	友清 崇	▼音楽療法の理論と技法	亀井 良信 *	菊地 知也
小田 裕之	今井 彩子	腰越 満美 *	福永 一博		上原 宏 *	宮坂 拓志
松谷 園子	▼声楽ディクシオン	鈴木 准 *	▼オペレッタ・ミュージカル演習	小宮 暖	長谷川 潤 *	▼キャリアデザイン
▼ピアノ演奏法	大橋 ゆり *	▼声楽アンサンブル・合唱	鷗木 絵里	▼音の物理学	合田 香 *	大島 路子
河村 晋吾	宮本 益光 *	宮本 益光 *	▼指揮法	▼演劇科学	▼弦合奏	
島田 彩乃	藤川 泰彰 ★	大津 康平	高山 美佳	古屋 晋一	市川 雅典 *	
三原 未紗子	駒井 ゆり子				田中 晶子 *	

## 大学 | 語学科目・一般教養科目・教職課程科目

### 語学科目

▼英語	奥野 元子	間瀬 裕子	佐藤 ローラ	▼ドイツ語	織田 晶子	吉村 暁子
長瀬 浩平 *	興石 采佳	矢向 寛子	十川 菜穂	玉川 裕子 *	川名 真矢	▼イタリア語
三浦 大輔 ★	鈴木 希	▼フランス語	萩原 さがみ	Stefan Säbel ○	杉山 真佑美	Vincenzo Spinuso ○
Jeremy Fulton ○	田中 直人	加藤 三和	山邑 久仁子	Markus Freyberg	松村 亜矢	Costanza Rufo
大島 路子	田中 由香	小泉 洋樹		猪狩 弘美	武藤 陽子	

### 一般教養科目

長瀬 浩平 * (主任)	荒巻 由紀 ★	伊澤 英紀	遠藤 記代子	小宮 暖	瀬川 哲朗	中山 夏織
杵鞭 広美 *	西野入 篤男 ★	入井 凡乃	加藤 三和	里岡 純子	千田 実	野上 圭太
玉川 裕子 *	室田 大樹 ★	内田 裕太	木下 頌子	清水 郁子	富澤 萌未	秦 江里奈
姫野 雅子 *	阿部 史佳	江川 純一	小松 志朗	須関 裕子	長井 淳	水野 泰尚

### 教職課程科目

杵鞭 広美 * (主任)	河原 勇人 ○	石坂 浩毅	小高 臣彦	宮城 哲
宮本 益光 *	風見 章 ○	狩野 浩二	竹下 善博	山本 剛

## 高校 | 専門科目

### ソルフェージュ

伊倉 由紀子 ★	森山 智宏 *	大塚 萌	田中 やよい	深見 麻悠子	松井 裕紀子	山口 恭子
鈴木 しのぶ ★	安西 房代	加藤 千春	中村 理奈子	船橋 泉乃	柳川 瑞季	渡部 真理子
間谷 琴未 ★	市川 景之	十川 菜穂	百武 眞弓	堀井 佐知子	山下 真理	

### ピアノ初見

伊倉 由紀子 ★	加藤 真一郎 *	塚田 真里	中村 理奈子
鈴木 しのぶ ★	沢木 良子	築田 佳奈	

### 音楽史

安田 和信 *	米田 かおり	正門 憲也 ★	森山 智宏 *	井上 渚	下田 幸二
近松 博郎		加藤 真一郎 *	鷹羽 弘晃 *	遠藤 真理子	藤村 晶子
藤村 晶子		余田 有希子 *	石濱 加夏子	桐山 温子	渡部 真理子

### 音楽理論

### 弦楽アンサンブル・弦楽オーケストラ

市川 雅典 *	長谷川 陽子 *	景山 裕子	藤川 泰彰 ★	丹藤 麻砂美	佐藤 勝重
田中 晶子 *	稲川 永示	清水 醍輝	里中 トヨコ	櫻井 淳	吉武 優

### 独唱・合唱

### 室内楽(ピアノ)

## 高校 | 普通科目

### 外国語

▼英語	Damian Macintosh ○	末松 紀子	間瀬 裕子	▼ドイツ語	松村 亜矢	山邑 久仁子
三浦 大輔 ★	石井 裕香	鈴木 希	宮崎 由美子	玉川 裕子 *	▼フランス語	小泉 洋樹
長瀬 浩平 *	興石 采佳	高岡 朱美		川名 真矢	加藤 三和	

### 他科目

▼国語	▼地理歴史・公民	▼数学・理科・情報	上野 国子	▼家庭科	▼保健体育	田中 優子
西野入 篤男 ★	室田 大樹 ★	姫野 雅子	土田 智美	川島 しずる	荒巻 由紀 ★	野上 圭太
内田 裕太	笹村 剛	石井 眞紀子	増田 翔也	矢野 祐子	伊澤 英紀	福田 大和子
千田 実		上杉 公志			須関 裕子	

## 大学院 | 専門科目・関連科目・総合科目

(修士課程・博士後期課程)

### ピアノ

▼コレベティツィオン	▼歌曲伴奏	▼器楽特殊研究	※ 大学教員と共通	▼声楽特殊研究・歌曲・台本研究	腰越 満美	田口 智子
田島 亘祥	星野 明子	武田 美和子		大橋 ゆり	鈴木 准	田島 亘祥
					宮本 益光	村上 寿昭

### 弦楽器

### 声楽

### 作曲理論

▼作品分析・創作演習	亀川 徹	▼MSD 共同制作研究	▼文献・原書講読	友利 修	大友 肇	▼ソルフェージュ特殊研究
石島 正博	近藤 譲	余田 有希子	沼野 雄司	永井 玉藻	北見 春菜	寺嶋 陸也
土田 英介	佐藤 岳晶	加藤 直正	安田 和信	西原 稔	西野 ゆか	
池田 哲美	久行 敏彦	西岡 龍彦	佐藤 康太		吉田 有紀子	
加藤 真一郎	菜 孝之		上尾 信也			
金子 仁美	渡辺 裕紀子		後藤 菜穂子			
金子 陽子			長木 誠司			

### 音楽学

### 室内楽

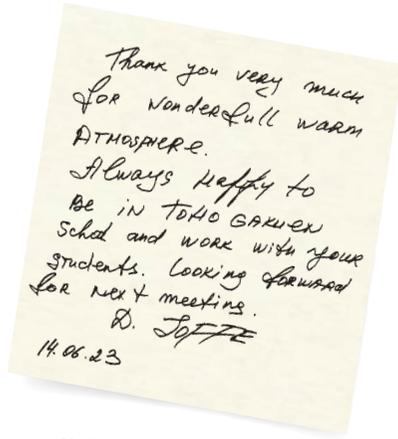
### ソルフェージュ

Special Lesson

# 特別レッスン

本学の教育活動は海外にも広く知られ、本学の学生や教育システムに関心を持つ多くの演奏家や指導者が世界中から来校し、特別レッスンや公開講座を行っています。国際色豊かなレッスンは学生の視野を広げ、世界の舞台上で活躍する音楽家を育成します。

詳細はWebへ



## | ピアノ特別レッスン

### ディーナ・ヨッフエ

ピアニスト/中央音楽学院 客員教授/  
リセウ音楽院 特別教授

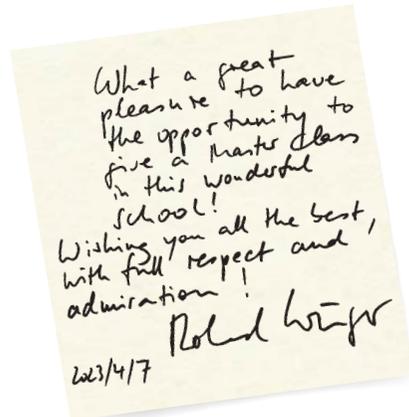
素敵な温かい雰囲気をおありがとうございました。  
桐朋学園大学に来られて、生徒の皆さんと一緒に仕事ができることをいつも嬉しく思っています。またお会いできる日を楽しみにしています。 ディーナ・ヨッフエ

## | ピアノ特別レッスン

### ローランド・クリューガー

ピアニスト/ハノーファー音楽大学 教授

この素晴らしい学校でマスタークラスを行う機会を持ったことを大変嬉しく思います！ 尊敬と称賛の念をこめて、皆さんのご活躍をお祈りします！  
ローランド・クリューガー

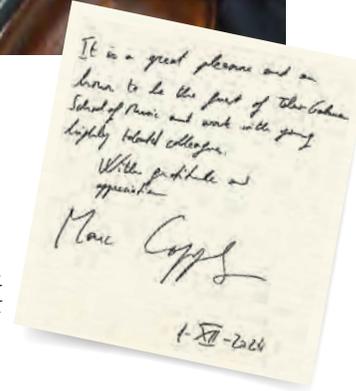


## | チェロマスタークラス

### マルク・コッペイ

チェリスト/  
パリ国立高等音楽院 教授

桐朋学園のゲストとしてお招きいただき、才能あふれる若い仲間たちとともに働くことを、大変光栄に思い、喜ばしく感じております。感謝と敬意をこめて。  
マルク・コッペイ



## | ピアノ特別レッスン

### ヘンリ・シーグフリードソン

ピアニスト/  
フォルクヴァング芸術大学 教授

桐朋学園の皆さんへ。  
初めてこの素晴らしい学校で教える機会に恵まれました。学生の皆さん、そして先生方が非常に高いレベルの芸術性、そしてピアノニズムを築き上げていらっしゃることを心から称賛したいと思います。喜びと素晴らしい雰囲気のある2日間を過ごすことができるとも光栄です。音楽をこめて。  
ヘンリ・シーグフリードソン

## | ピアノ特別レッスン

### ミシェル・ダルベルト

ピアニスト

何年もの時を経て、再び(桐朋に)戻ることができたことは大きな喜びです。驚くほどハイレベルな学生にとっても感心しています。私は喜びとともにまたここに戻って来よう。  
ミシェル・ダルベルト



## 特別レッスン・公開講座担当者一覧 (2024年実績)

足立 美緒 (ミキシングエンジニア) / アンサンブル  
ホリゾンテ (現代音楽アンサンブルグループ) / 出雲  
響 (舞踏家) / 岩佐 鶴文 (薩摩琵琶鶴田流演奏家)  
/ エリソ・ヴィルサーゼ (ピアノ モスクワ音楽院)  
/ ミハイル・ヴォスクレセンスキー (ピアノ 元モスク  
ワ音楽院教授) / 海老 影子 (ピアノ 本学特命教授)  
/ 大植 英次 (指揮 ハノーファー音楽演劇大学教授)  
/ 大宮 臨太郎 (ヴァイオリン NHK交響楽団) / 尾  
高 忠明 (指揮 本学特命教授) / ゲイリー・カー (コ  
ントラバス ヴィクトリア大学名誉博士) / オリヴィ  
エ・ギャルドン (ピアノ スコラ・カントルム教授) / ボ  
リス・クズネツォフ (ピアノ フェーリクス・メンデルス  
ゾーン音楽演劇大学室内楽教授) / マルクス・グロ  
ー (ピアノ ベルリン芸術大学教授) / アレクサンダー・  
コプリン (ピアノ ロチェスター大学イーストマン音楽  
学校准教授) / マルク・コッペイ (チェロ パリ国立高  
等音楽院教授) / ルーカ・ゴルラ (ピアノ ミラノ市立  
音楽院教授) / 酒井 淳 (バロックチェロ 本学特任  
教授) / 坂本 麻実 (舞踏家) / 佐藤 拓 (アレクサン  
ダー・テクニーク指導者) / 杉山 洋一 (作曲 ミラノ  
市立音楽院教授) / 須田 隆久 (フラメンコダンサー)  
/ チャールズ・スペンサー (ピアノ 元ウィーン国立  
音楽大学教授) / 高谷 智子 (武蔵野美術大学専任  
講師) / 滝野 ますみ (サウンドデザイナー) / バスカ  
ル・ドヴァイヨン (ピアノ 本学特任教授) / 富 正和  
(録音エンジニア) / 中川 俊郎 (作曲 日本作曲家  
協議会常務理事) / 中村 功 (打楽器 カールスル  
エ音楽大学教授) / 成平 有子 (演出家) / パヴェ  
ル・ネルセシアン (ピアノ ボストン大学教授) / 平  
野 美樹 (舞踏家) / 福土 則夫 (作曲 元本学特任  
教授) / フランク・ブラレイ (ピアノ パリ国立高等音  
楽院教授) / 古屋 晋一 (本学非常勤講師 ソニーコ  
ンピュータサイエンス研究所リサーチディレクター)  
/ ヴィレム・ブロンズ (ピアノ アムステルダム音楽院  
教授) / 堀米 ゆず子 (ヴァイオリン マーストリヒト音  
楽院教授) / 松田 拓之 (ヴァイオリン NHK交響楽  
団) / 三浦 武 (河合塾講師) / 森田 昌弘 (ヴァイオ  
リン NHK交響楽団) / ジョナサン・ラムゼイ (トロン  
ボーン ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席奏  
者) / エマニュエル・リモルディ (ピアノ 名古屋音楽  
大学 客員准教授) / ジャック・ルヴィエ (ピアノ モー  
ツァルトウム大学教授) / アレクセイ・レベデフ (ピ  
アノ) / 鷲田 実土里 (舞踏家)

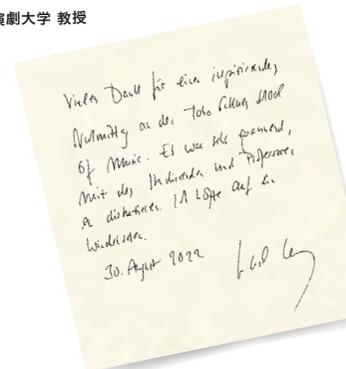
※所属・役職はレッスン当時のものです。

## | 作曲公開講座

### イザベル・ムンドリー

作曲家/ミュンヘン音楽・演劇大学 教授

桐朋学園でインスピレーシ  
ョンに富んだ午後を過ご  
すことができたことに感謝  
します。学生や先生方との  
議論は、とても興味深かつ  
たです。またお会いできる  
ことを楽しみにしています。  
イザベル・ムンドリー



# Campus life

## 【桐朋生のキャンパスライフ】

桐朋学園の学生たちは同じ音楽を志す者として、互いに切磋琢磨できる環境のなかで、日々練習に励んでいます。自身に合ったスタイルで過ごす学校生活。ここでは、学生のキャンパスライフの一部をご紹介します。

桐朋生の1日 …… 39    コンサートスケジュール… 44  
 活躍する桐朋生 …… 42    キャンパスガイド …… 46

Our days

# 桐朋生の1日

個々人に合ったスタイルで、授業や自主練習を通じて音楽の才能を伸ばしています。  
 桐朋生の朝練習、夜練習、学生会館、3つのキャンパスライフをご紹介します。

Case 1  
朝練



多様な学びを  
経験できる環境で  
研鑽を続ける

### 片岡 琴佑さん

桐朋女子高等学校 音楽科（男女共学）2年  
ピアノ専門

5歳よりピアノを習い始める  
 2016年 子供のための音楽教室に入室  
 2016年 加藤 明子先生に師事  
 2022年 桐朋女子高等学校に特待生として入学  
 有吉 亮治先生に師事

桐朋学園には授業やレッスンだけではなく様々な学びの場があります。尊敬する先輩との2台ピアノ、同級生と発表したピアノ・クインテットなど和気藹々としながらも日々研鑽を積んでいます。同級生や先輩との室内楽を通じて、自分の音、相手の音をよく聴くようになり、良い音楽を創り上げるために意見も言い合えるようになりました。

### II 時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	音楽史	ソルフェージュ	英語 論理・表現	フランス語	体育
2	英語 コミュニケーション	フランス語	音楽理論応用	数学I	ソルフェージュ
昼休み					
3	国語応用I	和声	科学と人間生活	生物基礎	公共
4			ホームルーム		
5					男声合唱

### On a Tuesday



### 楽しみながら、感性を磨く

聴音を通じて和声やリズムの捉え方を学び、表現力を養います。歌ったりリズムを取ったりする時間も楽しく好きな授業です。



### 友達とおしゃべりしてリラックス

同じ志を持ち切磋琢磨し合う学校の友達はとても大切な存在です。空き時間は音楽や日常のことまで、様々な話題を語り合います。



### ソロでは味わえない音色を奏でる

ソロの演奏も楽しいですが、同級生という、身近で尊敬できる音楽仲間と一緒に演奏できる室内楽の演奏も心地よく好きですね。

Case 2  
夜練



II 時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	遠隔
1	音楽理論 (応用和声II) 2	音楽理論(分析) 24	室内楽史			日本国憲法 A/B
2	ドイツ語 6	ソルフェージュ SP	体育 ナバリスミックβ		オペラ・ オラトリオ史 I	
昼休み						
3	英語III 17-OCβ	ドイツ語 9				
4	日本語表現 3		英語III 20-LW			
5				オーケストラ 中級クラス		

共に学ぶ仲間の  
頑張る姿が、  
私の原動力に

多々良 真名さん

桐朋学園大学 音楽学部 1年  
弦楽器専攻(ヴァイオリン)

5歳よりヴァイオリンを習い始める  
12歳より加藤 知子先生に師事  
2023年 室内楽セミナー「秋吉台の響き」2023に参加  
第5回日本奏楽コンクール 大学生の部第2位

桐朋学園は、指導してくださる先生も一緒に学ぶ仲間も尊敬できる方ばかり。皆さんの演奏に取り組む姿を見ていると、自然と「追いつきたい」という想いが生まれ、練習や勉強にもより身が入るようになります。自宅が遠いので、個人の練習は放課後にそのまま学校で取り組むことが多いですね。練習室は集中力が高まるので、お気に入りの場所です。

On a Thursday



親身な指導で自分の成長を実感

週に一度、先生と1対1でレッスンがあります。個性や成長のペースに合った、細やかな的確な指導を受けることができます。



授業の合間を活用して予習・復習

授業の空き時間や練習室が空いていないときは、スコアを読んだり課題に取り組んだりして時間を有効活用しています。



オーケストラの演奏を授業で体験

プロとして活躍する講師の方に指導を受けられる貴重な時間。一人での演奏とは異なる弾き方なども体験でき、勉強になります。

Case 3  
学生会館



II 時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1			ICT活用による 教育の方法・技術		音楽家教育法 I	
2			英語III 22-T	教育相談		
昼休み						
3	作曲法演習 合唱曲				音楽史各論	作曲法演習 吹奏楽
4	ソルフェージュ BC		女声合唱 B			
5						

側で暮らす学友が  
作品を音に  
変えてくれる

松橋 乃愛さん

桐朋学園大学 音楽学部 2年  
作曲専攻

7歳よりピアノを習い始める  
2008年 土田 英介先生に師事  
2016年 桐朋女子高等学校 音楽科(男女共学)入学  
現在作曲を正門 憲也先生、  
鷹羽 弘晃先生に師事

指揮者を目指し、北海道から上京して入学しました。一人暮らしは不安もありましたが、管理人さんが毎日温かく接してくれるので安心して過ごせています。私と同じように上京してきた同級生や、自分が編曲した音楽を舞台上で奏でくれる仲間たちなど、桐朋学園の学生は皆が音楽に対して一生懸命で、いつも刺激や意欲をもらっています。

On a Friday



音楽教育の背景を知り、視野を広く

音楽の教科書を通じて「なぜこの曲を取り上げるのか」といった理念を学びます。自分になり視座から音楽を眺めることが面白いです。



図書館で楽譜や音源の資料探し

図書館は楽譜や音源の宝庫。欲しい資料がすぐに見つかるし、落ち着いて静かに勉強することができるので、お気に入りの場所です。



演奏を通じて作曲の理解を深める

作曲を学んでから「作曲家はこう弾いてほしかったのかな」と考えるようになるなど、演奏表現にも良い変化があったと感じます。

Our success

# 活躍する桐朋生

コンクール出場やオーケストラ参加など、様々なステージで活躍する桐朋生。  
その経歴や活動内容、それぞれの想いについてご紹介します。

Pickup

## すべての経験を成長に変えて

第11回 ヨハン・ネボムク・フンメル  
国際ピアノコンクール 第2位

尼子 裕貴さん

桐朋学園大学 大学院  
修士課程3年 ピアノ専攻

コンクールは自身の成長を感じられる場です。大勢の同世代のピアニストの演奏から刺激を受け、様々な解釈と巡り会える機会。国際的に活躍する演奏家を目指すためにも、体験したすべてを糧に変えていきたいです。



Pickup

## 感情の豊かさを演奏にのせて

第93回 日本音楽コンクール  
バイオリン部門 第1位、  
レウカディア賞、鷲見賞、INPEX賞

栗原 吉成さん

桐朋学園大学 音楽学部  
ソリスト・ディプロマコース2年 ヴァイオリン専攻

即興的な要素が消えないよう、本番前は同じ曲を長時間練習するのをあえて避けています。課題曲が発表されれば、まずはゆっくりと楽譜を眺め、作曲家の意図を理解していく。そうやって、より感情豊かでフレッシュな状態で臨めるよう心がけています。

Pickup

## 作曲家の生き様をも音で奏でる

第93回 日本音楽コンクール  
バイオリン部門 第2位、黒柳賞

中原 梨衣紗さん

桐朋女子高等学校音楽科 (男女共学) 1年  
ヴァイオリン専攻

練習時に必ず「今日の課題」を見つけて解決するよう心がけています。先生からは「技術を磨くだけでなく、作曲家の人生や時代背景まで理解し、音で表現するように」とアドバイスをいただき、そうすることでその曲がもっと好きになりました。



Pickup

## 「届けたい」の想いが私を変えた

第93回 日本音楽コンクール  
ピアノ部門 第3位、三宅賞

南 ことこさん

桐朋学園大学 音楽学部4年  
ピアノ専攻

私は、どれだけ練習を重ねてもつい保守的な演奏をしがちです。でも、コンクールへの参加が曲との向き合い方や気持ちの面を変えるきっかけとなったように感じています。本選の舞台では、お客様に聴いていただけることの幸せを初めて感じる事ができました。



Pickup

## 失敗を恐れず、音楽と向き合う

第93回 日本音楽コンクール  
バイオリン部門 第2位、岩谷賞

金子 芽以さん

桐朋学園大学 音楽学部  
ソリスト・ディプロマコース2年 ヴァイオリン専攻

以前は「ミスのない完璧な演奏」に囚われすぎていました。でも、様々な曲と向き合うなかで「失敗しないことよりも大切なことがある」と考えるようになり、段々と音楽そのものに集中できるようになりました。それがコンクールの結果につながったと感じています。



## コンクールでの活躍 (2024年度実績)

第16回 ロベルト・シューマン国際音楽コンクール

【ピアノ部門】  
第2位 SD1年 原田 怜さん

第32回 チッタ・ディ・カントゥ国際ピアノ協奏曲  
コンクール

【ロマン派協奏曲部門】  
第3位 SD1年 原田 怜さん

パブロ・カザルス国際賞

【チェロ部門】  
第1位 SD2年 北村 陽さん

ジョルジュ・エネスク国際コンクール

【チェロ部門】  
第1位 SD2年 北村 陽さん

第4回 ブラームス国際ピアノコンクール

デトモルト  
【ピアノ部門】  
第3位 SD1年 原田 怜さん

第30回 ヨハネス・ブラームス国際コンクール

【ヴァイオリン部門】  
第2位 修士3年 東 亮汰さん

【室内楽部門】

第1位 Duo Droom-Kunst  
2023年大学卒業 ピアノ 菊野 惇之介さん  
2024年修士終了 ヴァイオリン 吉村 美智子さん

第93回 日本音楽コンクール

【作曲部門】  
第3位 2022年大学卒業 井上 莉里さん

※紙面の都合で一部のみを掲載しています。(入賞時の学年を記載)

Our concerts

# コンサートスケジュール

本学主催・共催などの演奏会が数多く開催されます。その他公演および詳細は、ホームページの「演奏会情報」でご案内していますのでご覧ください。

- 4月**
- 13 (日) 卒業演奏会 (高校) 紀尾井ホール
  - 20 (日) 卒業演奏会 (大学) 紀尾井ホール
  - 25 (金) 声楽コンサート 桐朋学園宗次ホール
- 5月**
- 12 (月) 第113回 室内楽演奏会 桐朋学園宗次ホール
  - 14 (水) 管楽アンサンブルの夕べ① 桐朋学園宗次ホール
  - 19 (月) 管楽アンサンブルの夕べ② 桐朋学園宗次ホール
  - 28 (水) / 30 (金) ヴィオラスペース 指揮：山下 一史 紀尾井ホール

- 6月**
- 4 (水) 大学 Student Concert ① 桐朋学園宗次ホール
  - 9 (月) 第114回 室内楽演奏会 桐朋学園宗次ホール
  - 11 (水) 第47回 作曲作品展 調布市文化会館たづくりくすのきホール
  - 16 (月) 高校 Student Concert ① 桐朋学園宗次ホール
  - 18 (水) 高校 Student Concert ② 桐朋学園宗次ホール
  - 23 (月) 大学 Student Concert ② 桐朋学園宗次ホール
  - 25 (水) 第115回 室内楽演奏会 桐朋学園宗次ホール

- 7月**
- 5 (土) オーケストラ演奏会 調布市グリーンホール 大ホール
- 8月**
- 25 (月) 桐朋ピアノ・コンペティション (本選) 桐朋学園宗次ホール
- 9月**
- 27 (土) 佐々木成子賞 受賞者コンサート 桐朋学園宗次ホール

エンスレン ショーン 陸さん  
桐朋学園大学 音楽学部 4年  
管楽器専攻 (トロンボーン)



管楽アンサンブルに  
出演!

舞台上立つことで、  
世界が拓けた

大切なのは、完璧に弾くことより  
聴く人に感動を届けること。  
舞台での経験を通じて世界がより  
広がりました。

ピアノ・ガラコンサート  
に出演!



中山 結菜さん  
桐朋学園大学 音楽学部 3年  
ピアノ専攻

舞台上演奏するあの喜びを求めて

舞台上演奏したときの喜びは何にも代え難い  
ですね。あの達成感があるからこそ、どんな  
練習も乗り越えられます。

- 10月**
- 22 (水) 第21回 桐朋ピアノ・ガラコンサート 調布市文化会館たづくりくすのきホール
  - 27 (月) 大学 Student Concert ③ 桐朋学園宗次ホール
  - 29 (水) 大学 Student Concert ④ 桐朋学園宗次ホール

- 11月**
- 24 (月) 音楽大学オーケストラ・フェスティバル 指揮：高関 健 with 昭和音楽大学 & 東京藝術大学 東京芸術劇場 コンサートホール

- 12月**
- 1 (月) ハープアンサンブルの夕べ 桐朋学園宗次ホール
  - 5 (金) チェロアンサンブル 府中の森芸術劇場 ウィーンホール
  - 9 (火) 第44回 パーカッションの夕べ 調布市文化会館たづくりくすのきホール
  - 17 (水) 第35回 Symphonic Winds 演奏会 杉並公会堂 大ホール

- 1月**
- 9 (金) 合唱の夕べ 調布市文化会館たづくりくすのきホール
  - 14 (水) 弦楽オーケストラ演奏会 指揮：清水 麗輝 桐朋学園宗次ホール
  - 17 (土) オーケストラ演奏会 調布市グリーンホール 大ホール
- 3月**
- 2 (月) 第22回 桐朋ピアノ・ガラコンサート 桐朋学園宗次ホール
  - 7 (土) 大学ピアノ専攻卒業演奏会 浜離宮朝日ホール
  - 28 (土) / 29 (日) 音楽大学オーケストラフェスティバル 合同オペラ 指揮：ジョン・アクセルロッド 東京芸術劇場 コンサートホール ミューザ川崎 シンフォニーホール

## 桐朋 木の香りコンサート

音楽教室に通う小中学生から、高校生・大学生・大学院生まで……桐朋で学ぶ学生・生徒が出演するコンサートです。開催予定やプログラムなどはX (旧 Twitter) に随時掲載していますので、ご確認ください。



@toho\_kinokaori



@toho\_strings

チェロアンサンブル  
に出演!



河田 実聖さん  
桐朋学園大学 音楽学部 3年  
弦楽器専攻 (チェロ)

チェロの音色で舞台を彩る

練習は厳しい瞬間もありましたが、本番は全員で「楽しもう」と言い合って舞台へ。貴重な経験ができました。



## 仙川キャンパス

〒182-8510  
東京都調布市若葉町 1-41-1  
Tel.03-3307-4101 (代表)

仙川キャンパスは、桐朋学園宗次ホールを併設する校舎を含む2棟の校舎を備えています。どちらも隈 研吾氏デザインの木造校舎で、木ならではの快適な音環境を提供し、桐朋生に愛される学び舎として定着しています。高校生と大学生が学年の垣根を越えて学ぶキャンパスは、様々な楽器の音や人の声が混ざり合い、活気あふれる交流の空間を生み出しています。



- 1 隈 研吾氏によるデザイン
- 2 木のぬくもりを感じられる教室
- 3 憩いの場となる学生ホール

### 仙川図書館

広々とした明るい図書館には、桐朋生の学びに欠かせない図書、楽譜、学内演奏会、映像資料が並び、2万点以上の資料をすぐに利用できます。ノートPCの貸出や、専門知識を備えた図書館員のレファレンスを通じて、図書館での学びをサポートします。



## 桐朋学園宗次ホール

〒182-8510  
東京都調布市若葉町 1-41-1  
Tel.03-3307-4101 (代表)

仙川キャンパス日館は、講義室、レッスン室、そして専用の音楽ホールである桐朋学園宗次ホールで構成されています。このホールは、最大客席数234席と小ぶりながら、フルオーケストラを収容できる広いステージを備えています。ホールにはCLTと呼ばれる木材が使用され、森の中にいるような空間に柔らかな音が広がります。



- 1 大きな窓から光が入る教室
- 2 CLTが印象的なエントランス
- 3 音の響きにこだわった音楽ホール



## 調布キャンパス

〒182-0021  
東京都調布市調布ヶ丘 1-10-1  
Tel.042-444-7055 (代表)

調布キャンパスは、主に大学院生のための研究施設として、高校生・大学生の活動拠点である仙川キャンパスと対をなす学び舎になっています。地下部分には図書館施設が入り、1階には読書しながら飲食できるスペースが設けられています。動的な仙川キャンパスに対し、スタティックな調布キャンパスは、院生たちが落ち着いて研究できる環境を提供します。



- 1 日建設計・山梨 知彦氏らによるデザイン
- 2 2階廊下には窓の大きな休憩スペース
- 3 響きを良くする木板が設置された教室

### 調布図書館

図書館の1階部分は学生ホールとシームレスにつながり、食事や談話をしながら図書や雑誌を読む開放的な空間です。地下部分は5万点以上の楽譜や図書を所蔵し、調査や研究に集中できるスペースになっています。自動貸出機でいつでも資料の貸出が可能です。



### アネックス

〒182-8510  
東京都調布市若葉町 2-19-47

仙川キャンパスから徒歩約10分の場所に、音響面、デザインともに高い評価を受けている「アネックス」があります。大小様々な広さの15室を有し、主にレッスンで使用されています。



### 学生会館

調布市調布ヶ丘  
(京王線調布駅より徒歩約15分)

遠方に住む女子学生・学生のための居住施設です。各住戸は防音設備付きの洋室となっていて、練習や勉強に必要な諸条件を確保する他、管理人が常駐しています。詳細は本学ホームページをご覧ください。



📍 仙川キャンパス・調布キャンパス  
保健室・学生相談室

桐朋生の皆さんが安心して充実した学校生活を送れるよう、保健スタッフもサポートします。保健室には看護師が常駐し救急対応と健康相談を行い、学生相談室では学校生活に関する様々な相談に応じます。病気や障がいのために特別な配慮を必要とする方も、こちらでご相談ください。

# Next stage

## 【桐朋生の進路・進学】

音楽を究め続ける人生の先には、これからも様々な選択肢があります。桐朋学園では、留学をはじめ、進路や進学について学生一人ひとりに寄り添いサポートしています。

高校卒業後の進路 ……	49	大学院への進学 ……	52
大学卒業後の進路 ……	50	特待生・奨学金制度 ……	53
留学について ……	51	入試情報 ……	54

## Next stage

# 高校卒業後の進路

## 桐朋学園大学への進学その他、 実技に特化したコースへの道も

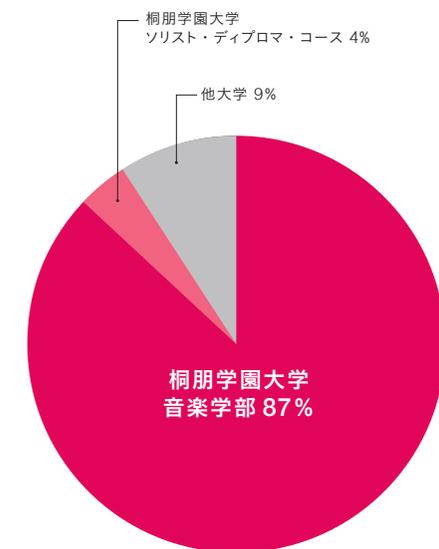
桐朋学園では、高校から大学まで一貫した音楽教育を実践しています。大多数の生徒が指定校推薦制度で桐朋学園大学音楽学部への進学を希望し、ソリスト・ディプロマ・コースやカレッジ・ディプロマ・コースなどの実技に特化したコースに進学する生徒もいます。他にも、留学や他大学への進学を選択する生徒もいます。

### 桐朋学園大学音楽学部への推薦基準

桐朋女子高等学校音楽科を卒業見込みの者で、桐朋女子高等学校校長が推薦し、次の要件を満たす者。

- ・ 高校在学中の授業および実技レッスン（副科ピアノ、理論科ピアノなども含む）への出席が良好で、常日頃より勉学の意欲を持つ者。
- ・ 素行、生活態度が桐朋学園大学音楽学部へ推薦するに相応しいこと。
- ・ 卒業に必要な科目の単位をすべて修得する見込みであり、次の科目については、高校3年次に一定以上の成績を修めていること。  
【専門実技／聴音・ソルフェージュ／和声法／音楽史】

### ▶ 2024年度の卒業生進路 (卒業生54名)



## Other course

### 桐朋独自の多様な学び場

#### ▶ ソリスト・ディプロマ

受験資格：中学校卒業以上の者

ピアノ、ヴァイオリン、チェロ、フルートにおいて、ソリストとしての将来性を有すると認められた者を対象に、実技の重点的教育を行うことを目的としたコースです。

#### ▶ オープンカレッジ「指揮コース」

受験資格：高等学校卒業以上の者

桐朋学園大学の指導陣による「指揮実技」のレッスンを年間24回受講することができるコースです。

#### ▶ 研究生

受験資格：大学音楽学部卒業以上の者

音楽大学の卒業生で、さらに実技の研究を深めたい者のために設置されています。

設置専攻 管楽器／打楽器／ハープ／古楽器／指揮／作曲／音楽学

#### ▶ カレッジ・ディプロマ

受験資格：高等学校卒業以上の者

実技を中心とした自由で高度な専門教育を行うコースです。生涯学習やダブルスクールの場も提供しています。

#### ▶ 科目等履修生

受験資格：高等学校卒業以上の者

学科系の講座の単位修得を目的として受講するコースです。実技は受講できません。

※詳細は本学ホームページ  
(<https://www.tohomusic.ac.jp/>)  
をご覧ください。

Next stage

# 大学卒業後の進路

## さらなる研鑽を積むために多くの学生が進学を選択

5割程度の学生が桐朋学園の大学院や研究科、桐朋オーケストラ・アカデミーへ進学する他、新たな活動拠点を求めて海外留学する学生も多数います。また、桐朋で学んだ専門性を生かし、教育・学習支援機関や音楽関連企業などへ就職する学生もいます。

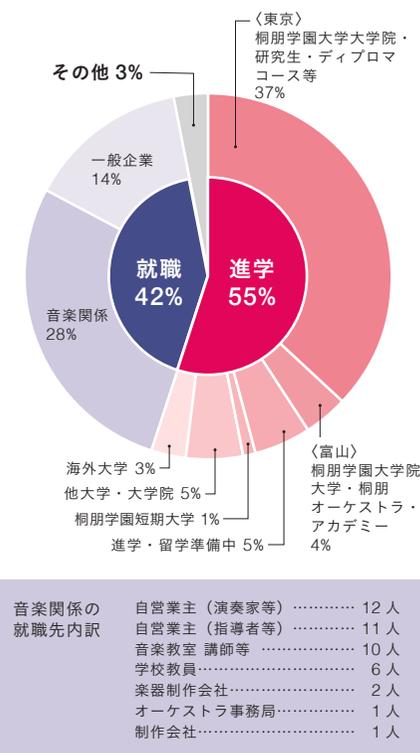
### 桐朋オーケストラ・アカデミー

プロのオーケストラ・プレイヤーの育成を目的とした研究機関で、弦・管・打楽器奏者を主な対象としています。富山市との連携による演奏会や、大学院大学との共同企画、海外留学生との交流など、多彩な活動を行っています。



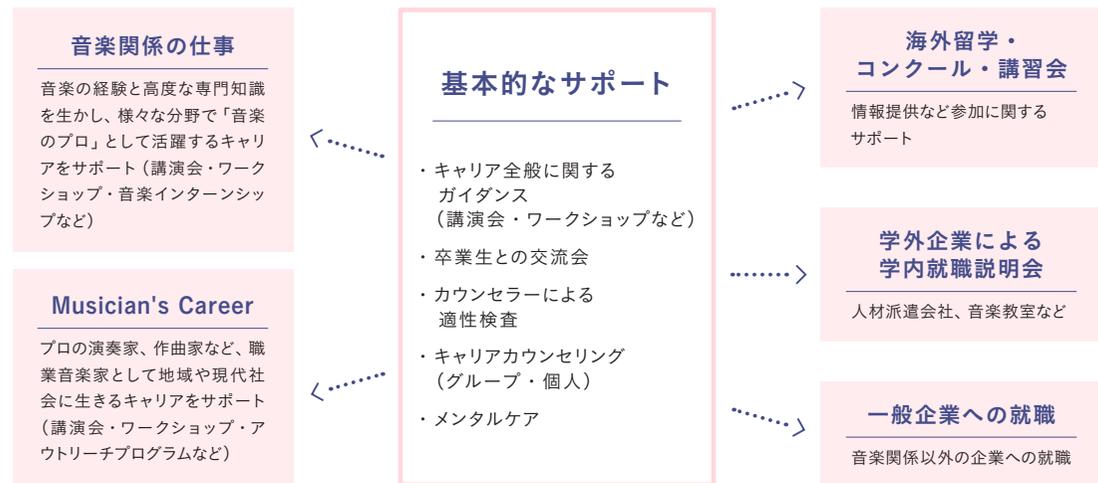
富山キャンパス  
〒930-0138 富山県富山市呉羽町1884-17

▶ 2023年度の進学就職者実績(卒業生155名)



## キャリアサポート

選択肢を絞るのではなく、可能性を広げる——それが、桐朋のキャリア支援の理念です。幅広い視野を身につけ、自分自身とじっくり向き合い、世界でたったひとつの、あなたならではの人生を開拓してください。キャリア支援センターでは、その模索と実現を後押しすべく、それぞれの未来に目を向けたアドバイスを行っています。



Next stage

# 留学について

## 個々の主体性を尊重する、目的に合わせた留学支援

音楽家を志したときから、留学を視野に入れている人も多いのではないのでしょうか。桐朋学園では一人ひとりの目的に合った留学が計画できるように有益な情報を提供しています。高校から大学院までの間でいつ留学するかはその人次第です。それぞれのタイミングで海外へ向かう桐朋生をサポートします。

**留学先(2023~2024年度実績)**

インディアナ大学、ウィーン市立音楽芸術大学、カーティス音楽院、カールスルーエ音楽大学、ハーグ国立音楽院、バーミンガム大学、エコールノルマル音楽院、ハンス・アイスラー音楽大学、ベルリン芸術大学、モーツァルテウム音楽大学、モスクワ音楽院、国立リスト音楽院、ローザンヌ高等音楽院 他

### 留学するために

在学中に1~2週間の短期留学で情報収集をしたり、セミナーや音楽祭で出会った音楽家へアプローチしたりと、留学先や師事する先生の選び方は様々です。本学では、海外を拠点に活躍する卒業生の人脈や、留学経験を持つ講師や身近な先輩からも情報を得ることができます。また、サンタ・チェーリア音楽院、ケルン音楽大学、デトモルト音楽大学との短期交換留学制度もあります。

先生選び	情報収集	コンタクト
先生からの推薦や、卒業生や先輩からの紹介、特別レッスンの招聘教授など、師事したい先生を選びます。	パスポートやビザの準備をはじめ、ホームステイ先・寮・アパートなどの生活拠点について情報を収集します。	師事したい先生や学校への推薦状の用意、願書の添削などのサポートを受けながら留学先とコンタクトを取ります。

▶ 留学

## 留学中の先輩の声



留学先:  
パリ国立高等音楽院(フランス)  
**谷口 知聡さん**

桐朋女子高等学校 音楽科(男女共学)  
ピアノ専門 2017年卒業  
桐朋学園大学 音楽学部  
ピアノ専攻 2021年卒業  
フロラン・ボファール氏に師事  
滞在期間:2021年9月~現在

### 国際都市で世界に触れる

現代音楽作品の演奏に携わりたいという強い希望があり、この分野での教育環境が整った学校を留学先を選びました。世界中から芸術家が集まるこの場所では、ときに彼らの母国での悲惨な体験を知る機会もあります。桐朋で高校からフランス語を学んだことが役立っていますが、語学だけでなく世界の問題について学ぶ必要性を感じます。



留学先:  
カーティス音楽院(アメリカ)  
**五月女 恵さん**

桐朋女子高等学校 音楽科(男女共学)  
弦楽器専門 2020年卒業  
桐朋学園大学 音楽学部  
ヴァイオリン専攻 2024年卒業  
エリン・キープ氏、  
アイダ・カヴァフィアン氏、  
ベンジャミン・ペイルマン氏に師事  
滞在期間:2024年9月~現在

### 個を磨き「自分の音」を追究する

桐朋での室内楽やオーケストラの授業で鍛えられたおかげで、留学先でもすぐに順応できました。第一線で活躍する方々と頻りに交流・共演をし、人前で演奏する豊富な機会に恵まれています。また、的確な指導により、短時間で効率的に演奏の完成度を引き上げられるようになりました。個性を引き出してくださる環境で、さらに「自分の音」に磨きをかけていきます。

Next stage

# 大学院への進学

## より深く、洗練された 音楽知識と技能の習得を目指して

2017年4月、日本の音楽教育発展の先導役を担う教育・研究機関として仙川・調布両キャンパスに大学院を開設。実践的なカリキュラムを通じて、広く音楽界で活躍できる演奏家の養成、深い音楽的知識や教養を有する教育者や研究者の養成を目指します。



### 修士課程 標準修業年限：2年

#### 養成しようとする人材

- ・確かな実践能力や豊かな知識をもって活躍できる演奏家

#### ▶ カリキュラム・ポリシー

大学院音楽研究科は、音楽実践に不可欠な高度な能力を習得し、自立した音楽活動を行うにあたって必要な能力を養うことを目的とする。その目的のために、各コースの特質に適合した教育課程を編成している。修士課程は2年以上の在学期間に、コースごとに開設される実技あるいは実習・演習などを履修し、また、学術的研究を支える関連科目を所定の範囲で履修しなければならない。学位審査は、修了演奏／作品および研究レポート、または修士論文によって行われ、合格者は修士（音楽）の学位を授与される。

ピアノコース	ソロ／歌曲伴奏／コレペティション
弦楽器コース	ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ／コントラバス
声乐コース	オペラ／歌曲
作曲コース	創作芸術／編作芸術
音楽学コース	
室内楽コース	
ソルフェージュ教育コース	(2026年度設置予定)

### 博士後期課程 標準修業年限：3年

#### 養成しようとする人材

- ・極めて高度な知識と教養及び卓越した技能を備え、音楽に関する学術的な研究を自立的に行うことができ、将来、主に高等教育機関において教育者、研究者として活躍できる人材
- ・豊かな学識に裏打ちされた実践能力によって、世界の音楽界で中核的指導力を発揮できる人材

#### ▶ カリキュラム・ポリシー

専門領域における極めて高度な知識、教養、見識及び卓越した技能をもって研究及び演奏を行う能力を獲得する。修了後は高等教育機関で教育や研究に従事するために必要な問題発見能力、課題解決能力、他の専門領域や他者の知見を理解しクリティカルに検証する能力を習得する。また、教育研究を持続的に推進する人材として、社会や文化に対する広い視野と高い見識を培う。

#### ピアノ・弦楽器・声乐・作曲・音楽学研究領域

ピアノ・弦楽器・声乐・作曲・音楽学の5つの研究領域において、各自専門の学術研究・実技研究を実施。計画的に研究を進め、積極的に議論や発表を行うことで、音楽研究に必要な方法論や技術を習得。各自の研究成果は研究演奏や博士論文にて発表。修了までに学術研究・実技研究の一体化を目指す。

Other

#### ▶ 桐朋学園大学院大学 (富士市)

設置専攻 ピアノ／ヴァイオリン／ヴィオラ／チェロ

【音楽研究科 演奏研究専攻(修士課程)】

アンサンブルを重視した実技研究を特色としています。

Scholarship student

# 特待生制度

特待生入学試験合格者、入学試験、または、所定の学内試験で専攻実技の成績が極めて優秀であると認められた学生に、「入学金」「運営維持費」「授業料」などの全額または一部免除をもって、これを顕彰する特待生制度を設けています。

#### ▶ 2024年度実績

桐朋女子高等学校	11名	・入学金／運営維持費50万円 免除3名 ・運営維持費30万円 免除1名 ・運営維持費一部20万円 免除7名
桐朋学園大学	9名	・入学金／授業料一部118万円 免除2名 ・運営維持費／施設設備費一部50万円 免除1名 ・運営維持費30万円 免除1名 ・運営維持費一部20万円 免除2名 ・運営維持費一部15万円 免除1名 ・運営維持費一部10万円 免除2名
桐朋学園大学院	7名	・授業料／施設設備費／運営維持費145万円 免除1名 ・授業料一部50万円 免除1名 ・授業料一部30万円 免除1名 ・入学金一部20万円 免除1名 ・授業料一部20万円 免除1名 ・運営維持費10万円 免除2名
ソリスト・ディプロマ・コース	10名	・受講料／施設設備費100万円 免除3名 ・受講料一部50万円 免除2名 ・登録料一部20万円 免除3名 ・登録料一部15万円 免除2名
研究生	1名	・登録料一部10万円 免除1名

Scholarship

# 奨学金制度

成績優秀者または経済的な理由により就学が困難な学生を対象に各種の奨学金制度を設け、多くの学生の勉学の支えとなっています。

#### ▶ 桐朋独自の奨学金制度 ※すべて給付奨学金です。

#### 01 桐朋学園音楽部門奨学金

成績が良好で心身ともに健全であり、経済的理由で就学が困難な学生・生徒に対し、1年毎に選考を行い給付されます。

2024年度 高校：授業料の4割 3名／3割 5名／2割 1名  
 大学：授業料の4割 11名／3割 12名／2割 15名／1割 27名  
 大学院：授業料の2割 1名／1割 5名  
 ソリスト・ディプロマ：授業料の1割 1名

#### 02 桐朋学園音楽部門特別奨学金

成績の特に秀でた学生・生徒に対し給付されます。

2015年度 1名 50万円

#### 03 桐朋学園音楽部門芸術教育整備・拡充資金及び奨学金基金

当該年度の入学試験で、秀抜なる成績を得た学生・生徒に給付されます。

2019年度 1名 授業料一部(30万円) 免除(大学院生)

#### 04 宗次徳二桐朋学園大学院特待奨学金

宗次徳二氏の寄附により設立され、成績が優秀でありながら、経済的理由のため就学が困難な本学の大学院生に給付されます。

2024年度 5名 各120万円

#### 05 桐朋学園音楽部門同窓会奨学金

桐朋学園音楽部門同窓会から、向学心があり心身ともに健全で、経済的理由によって就学が困難な大学2年生を対象に給付されます。

2024年度 6名 各10万円

#### 06 チェロアンサンブル・サイトウ奨学金

当該年度の入学試験で、秀抜なる評価を得たチェロ専攻の学部学生に給付されます。

2024年度 4名 各10万円  
(学部生1名、ソリスト・ディプロマ生3名)

#### 07 桐朋学園音楽部門留学支援奨学金「江崎スカラシップ」

江崎正道氏の寄附による留学支援奨学金。大学生以上のピアノ専攻生が対象。在学中に海外高等教育機関へ留学をする者に一人当たり500万円が支給されます。

2023年度 4名 各500万円

【その他の奨学金】※給付、貸与など、様々な奨学金があります。

- 日本学生支援機構奨学金
- 各都道府県・地方公共団体奨学金
- 企業、交通遺児育英会等の奨学金

# 入試情報

本学は、以下3つをアドミッション・ポリシーとして、入学者に求める学生像の方針を定めています。

- ・音楽表現に対する能力や意欲を有し、自己の目標を持っている者
- ・音楽文化に関する知識と技量を習得し、社会の発展に貢献する意思のある者
- ・音楽文化の領域を学ぶために必要な理解力・構想力を持っている者

**夏期・冬期講習**

受験準備のための講習会を、夏期と冬期に開催しています。入試に準じた模擬試験や、入試時に試験科目が免除になる認定試験を実施していますので、ぜひ活用してください。

夏期講習

7/26～7/29  
受講申し込み期間：6/2～7/1

講習科目：a. 専攻実技（模擬試験、個人レッスン）  
b. 新曲視唱・聴音（模擬試験、授業、相談）  
c. 楽典（模擬試験、授業、相談）  
d. 和声【作曲・指揮のみ】（授業）  
e. 副科ピアノ（演奏と講評）  
f. 作曲理論ピアノ【作曲・指揮のみ】（模擬試験、個人レッスン）

冬期講習

12/20～12/21  
受講申し込み期間：10/1～11/28

講習科目：a. 専攻実技レッスン b. 新曲視唱・聴音（模擬試験、授業）  
c. 楽典（模擬試験、授業）  
d. 和声・作曲授業【作曲・指揮のみ】  
e. 副科ピアノ（演奏と講評）  
f. 作曲理論ピアノ【作曲・指揮のみ】（演奏と講評）

		募集要項	募集専門・専攻・コース	願書受付	試験日	合格発表
桐朋女子高等学校 音楽科（男女共学）	推薦	第一種入学試験（一般）	管楽器/打楽器/ハープ/声楽/作曲	1/16	1/22	1/22
		第二種入学試験（男子部・女子部）	ピアノ/弦楽器/管楽器/打楽器/ハープ/声楽/作曲（大学進学時に指揮専攻を希望する者を含む）	1/16	1/22	1/22
	一般	入学試験	ピアノ/弦楽器/管楽器/打楽器/ハープ/声楽/作曲	1/26～30	2/10～12	2/13
桐朋学園大学 音楽学部	総合型	特待生Ⅰ期		10/1～10	一次試験：書類審査（合格発表：10/22） 二次試験：11/1	11/12
		特待生Ⅱ期	ピアノ/弦楽器	11/10～21	一次試験：書類審査（合格発表：12/1） 二次試験： <u>ピアノ</u> 12/15 <u>ピアノ以外</u> 12/16	12/18
		飛び入学		11/10～21	一次試験：書類審査（合格発表：12/1） 二次試験： <u>ピアノ</u> 12/15 <u>ピアノ以外</u> 12/16	12/18
		A日程		9/12～25	10/25～26	11/1
		B日程		2/13～3/13	3/21	3/21
	外国人留学生	ピアノ/弦楽器/管楽器/打楽器/ハープ/古楽器/声楽/指揮/作曲/ミュージコロジー	9/12～25	10/25～26	11/1	
一般	一般・編入・オンライン※		1/5～15	2/5～9	2/13	
桐朋学園大学 大学院 音楽研究科	修士	2025年度秋期入試	ピアノ/弦楽器/声楽/作曲/音楽学	7/1～5	9/3	9/4
		2026年度特別入試	ピアノ/弦楽器/声楽	7/1～5	9/3	9/4
		A日程	ピアノ/弦楽器/声楽/作曲/音楽学/室内楽/ソルフェージュ教育（2026年度設置予定）	10/1～10	11/1～2	11/12
		B日程		2/13～3/13	3/21	3/21
		外国人留学生入試	ピアノ/弦楽器/声楽/作曲/音楽学	10/1～10	11/1～2	11/12
博士	博士後期課程	ピアノ/弦楽器/声楽/作曲/音楽学	1/5～15	2/2～3	2/4	
ディプロマ・コース	ソリスト・ディプロマ	ピアノ/ヴァイオリン/チェロ/フルート/声楽	11/10～21	<u>ピアノ</u> 12/15 <u>ピアノ以外</u> 12/16	12/18	
	カレッジ・ディプロマ	ピアノ/弦楽器/管楽器/打楽器/ハープ/古楽器/声楽/指揮/作曲/ミュージコロジー	2/4～19	2/27	3/6	

## 【その他コースのご案内】

桐朋学園には、高校・大学以外にも多様な学びの場があります。ディプロマ・コースでは、実技中心の専門教育に特化し、他校とのダブルスクールも可能です。大学卒業後も専門性を深められる研究生制度や、実技以外の科目を履修できる科目等履修生制度もあります。オープン・カレッジでは桐朋学園大学の教授・講師陣による指揮のレッスンを受講できます。

**■ 研究生**

募集コース：管楽器/打楽器/ハープ/古楽器/指揮  
募集資格：大学音楽学部卒業以上  
願書受付：1/5～15  
試験日：2/5～9  
合格発表：2/13

---

**■ 科目等履修生**

募集資格：高等学校卒業以上  
願書受付：3/11～13  
試験日：3/26  
合格発表：4/1

---

**■ オープン・カレッジ**

募集コース：指揮  
募集資格：高等学校卒業以上  
願書受付：2/4～19  
試験日：2/27  
合格発表：3/6

---

**■ Visiting Student Course**

外国人留学生入試以外にも、留学生が音楽を学び、実践的な経験を積むことができる2種類のプログラムがあります。いずれも本学指導陣によるレッスンが中心です。

詳細は本学ホームページ  
(<https://tohomusic.ac.jp/college/admissions/>) をご覧ください。



# Access Map

アクセスマップ

## 仙川キャンパス

〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1  
TEL.03-3307-4101 (代表) FAX.03-3307-4001

- ・京王線「仙川駅」より徒歩約5分
- ・小田急線「成城学園前駅」よりバス約15分
- ・JR中央線「吉祥寺駅」よりバス約25分
- ・JR中央線「三鷹駅」よりバス約30分

### ▶ 仙川駅からのご案内

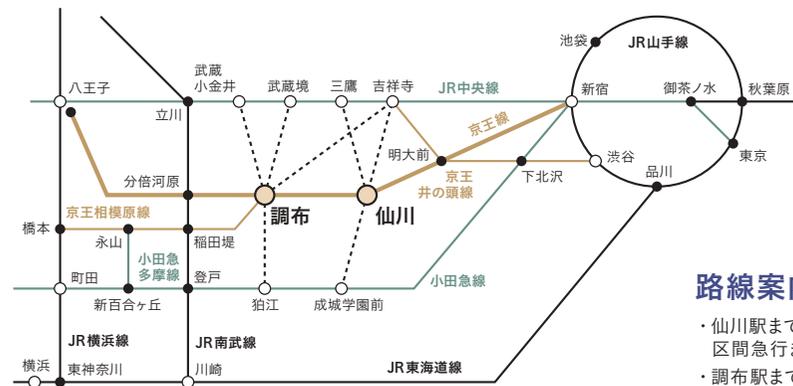


## 調布キャンパス

〒182-0021 東京都調布市調布ヶ丘1-10-1  
TEL.042-444-7055 (代表) FAX.042-444-7056

- ・京王線「調布駅」より徒歩約10分

### ▶ 調布駅からのご案内



### 路線案内

- ・仙川駅まで京王線「新宿駅」より  
区間急行または快速で約18分
- ・調布駅まで京王線「新宿駅」より特急で約18分

本学ホームページはこちら ▶ <https://www.tohomusic.ac.jp/>

